

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク



2010 年度事業報告書

2011 年 7 月

ご挨拶

この度の東日本大震災により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますよう心からお祈り申し上げます。

3月11日の未曾有という言葉ではとても言い尽くせない大災害により、震災後は音楽活動を始め文化、スポーツ等の興行事業は全国でことごとく自粛となりました。悲しみの中で不自由な生活を強いられている被災地の皆さまのことを考えるととても音楽で何かが出来るとは考えられない状況でした。

トリトン・アーツ・ネットワーク（TAN）でも古典四重奏団の公演が3月13日に迫っていましたが、開催すべきか悩みましたが、余震もある程度落ち着き、計画停電の発表前で交通機関の混乱も落ち着いていたこともあり、演奏家と相談のうえTANの今すべきことは音楽により心を癒すことであると考え、開催を決定いたしました。ご予約済のお客さまからはなぜこの時期に強行するのかとのご批判もいただきましたが、当日ご来場いただいたお客さまからはアンケートで以下のような感想をいただきました。

- ・ 厳しい時こそ音楽が必要だと思います。開催を決断された演奏者の皆さま、ホール関係者の方々に感謝します。
- ・ 時期が時期だけに出てこようか迷いましたが、出てきて良かった。素晴らしい午後でした。バッハは東北地方の皆さんに届いたと思います。
- ・ 大災害の直後、こうして何不自由なく美しい音楽を聴ける幸せをかみしめています。
- ・ 今日には生きていることに感謝です。

我々の出来ることは本当に小さなことですが、音楽をお届けすることにより皆さまの心が少しでも癒されればと願ってやみません。

さてお蔭様をもちまして本年11月にTANは10周年を迎えます。ホール公演事業では11月を中心に10周年の10daysの公演を開催し、コミュニティ事業では新たなアウトリーチ活動を展開してまいります。また文化庁より「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業（地域の中核劇場・音楽堂）」に2011年度より5年採択をいただきました。今後もTANの活動に引続き皆さまのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なおTANの2010年4月から2011年3月までの1年間の活動記録を本事業報告書にまとめましたので、ご高覧いただけたら幸いです。またこの機会に皆さまからもTANの活動に対して忌憚のないご意見、ご助言をいただければ大変ありがたく存じます。

最後になりましたが、TANの活動を支えていただいている「法人会員」「個人会員」「協賛会社」「助成団体」「評価委員会」「中央区行政」の皆さま、「演奏家」の皆さまおよび「サポーター」の皆さまには、日頃より暖かいご支援、ご協力を賜り、改めてこの場を借りまして深く感謝申し上げます。

私事ですが、昨年6月の総会より創設以来の理事長である加茂文治から理事長を引継ぎました。引き続きのご支援、ご指導を賜りますよう何卒お願い申し上げます。

2011年7月
特定非営利活動法人 トリトン・アーツ・ネットワーク
理事長 長浜力雄

目 次

I. ディレクターご挨拶	・・・ 4 ページ
II. 法人会員・協賛企業からのメッセージ	・・・ 5 ページ
III. 2010 年度の事業の成果	
1. 全体の総括	・・・ 7 ページ
2. 自主企画公演事業	・・・ 9 ページ
自主企画公演事業一覧	
(1) ライフサイクルコンサート	
(2) クアルテット・ウィークエンド	
(3) ウィークエンド・コンサート	
(4) 特別コンサート	
(5) 共催公演	
(6) TAN モニターレポート	
3. コミュニティ事業	・・・ 38 ページ
コミュニティ事業一覧	
(1) アウトリーチ活動	
(2) 弦楽器体験ワークショップ	
(3) 第一生命ホール オープンハウス	
(4) ハロー！コンサート	
(5) ロビーコンサート	
(6) レクチャーコンサート	
(7) 協力企画	
4. 文化ボランティア拠点づくり事業	・・・ 53 ページ
5. 評価事業	・・・ 55 ページ
IV. 広報活動	・・・ 56 ページ
1. 新聞・雑誌	
2. テレビ・ラジオ	
3. トリトン・アーツ・ネットワークからの情報発信	
4. その他	

V. 収支報告	・・・ 60 ページ
VI. 事業実施に関する事項	
1. 運営に関する事項	・・・ 62 ページ
2. 寄付・助成に関する事項	・・・ 64 ページ
3. 理事・職員・評価委員	・・・ 67 ページ
VII. 特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク 定款	・・・ 68 ページ

I. ディレクターご挨拶

2010年度も、TANの活動にご賛同いただきご協力いただきました皆さまのおかげで、ミッションに沿った充実した活動を行うことができましたことを、感謝の気持ちをこめてここにご報告させていただきます。

このような仕事に携わっていると平時であっても「芸術は人間にとって必要欠くべからざるものなのか」という問いは常にあります。ただこの問いを、これほど切迫した気持ちで自らに問い続けたのは初めてでした。

2011年3月11日、東日本大震災が起きました。過去に聞いたことのないようなニュースが次々と報道される緊迫した状況の中で、難しい決断ではありましたが、3月13日の古典四重奏団の公演は予定通り行うこととしました。もちろん諸々のご事情があっただけで済まなかったお客様もあり大変申し訳なく思っております。ただあの公演の2時間は本当に貴重な時間でした。アンコールとして、被災された方のために演奏されたJ.S.バッハ作曲オルガン小曲集の「おお人よ、汝のおおいなる罪を泣け」には、ホールにいたお客様全員が、文字通り、心をひとつにしたと思うのです。大きな自然の力の前に、ひとりひとりの人間の力の小ささを思い知らされた直後でしたが、ひとりひとりの「想像力（思いを致す力）」は無敵なのだと思います。芸術は「創造する」ものですが、「想像する」ものでもあります。この「想像する」力は、どんな状況にあっても絶対に失ってはならないものです。今後日本が立ち上がる際に「想像する力」を喚起する芸術は必ず必要となります。

13日の公演は、TANがもしも違う目的やミッションを持つ団体だったら、できなかったかもしれません。ミッションは2011年度から「音楽により、多くの人々の心に豊かな時間を提供する」こととし、音楽を「広める」「創る」「育てる」活動をこれまで通り行っています。ご賛同くださる皆さまのご支援を得て、このミッションを実現する組織であることの幸せを以前に増して強く感じています。

このような時代に10年目を迎えるアートNPOとして、創造し想像できる未来を残すために、何ができるのか考えながら、ご支援いただける皆さまと共に歩んでいけたらと思っております。今後とも変わらぬご支援をいただけましたら幸いです。

田中玲子

II. 法人会員・協賛企業からのメッセージ

住友商事株式会社

このたびの東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。
被災地の一日も早い復興を心より祈念いたしております。

住友商事グループは、経営理念に「健全な事業活動を通じて豊かさと夢を実現する」ことを企業使命としており、行動指針のひとつに「良き企業市民として社会に貢献する」ことを掲げて、社会貢献活動や文化支援活動を推進しております。その一環として、弊社は、2001年設立当初からトリトン・アーツ・ネットワークの事業活動に協賛させて頂いております。

トリトン・アーツ・ネットワークは、第一生命ホールを舞台として、身近に音楽を楽しむ機会を提供する『ホール事業』、継続的に取り組んでおられるアウトリーチ・レクチャーコンサート等の『コミュニティ活動』、さらにはサポーターとの共同企画である『文化ボランティア拠点作り事業』などを通じ、地域コミュニティやサポーターとの関係作りを通じた様々な活動を積極的に行っておられます。

10周年を迎えたトリトン・アーツ・ネットワークの一層の活躍を通して、これからも地域の文化・芸術がますます発展することを地域の一員として心から願っております。

財務部

株式会社晴海コーポレーション

晴海トリトンスクエアは、今年、完成後10周年を迎え、安心、安全な街と地域社会との共生を目指して、発展をしてみえました。中でも、とりわけ大事にしてきたのが、地域の文化活動への貢献であります。

弊社は、その設立当初からトリトン・アーツ・ネットワークの事業活動に協賛させていただき、その事業方針である「広める」「創る」「育てる」に基づいた活動に対し、深く感動するものであります。

とりわけ、第一生命ホールを舞台とした、身近に音楽を楽しむ機会を提供する「ホール活動」、継続的に取り組んでおられますアウトリーチ・レクチャーコンサート等の「コミュニティ活動」など、地域コミュニティやサポーターとの関係づくりを通じた様々な活動について、真摯に敬意を表するものであります。今後とも創業以来の地域に根ざした幅広い音楽活動を通じ、地域に貢献されることを、心からお願いいたします。

これからも地域の文化・芸術がますます発展し、トリトン・アーツ・ネットワークが更なる発展をとげられますよう、地域の一員として心からお祈り申し上げます。

代表取締役社長 谷本 良平

第一生命保険株式会社

トリトン・アーツ・ネットワークにおかれましては、設立10周年の佳節を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

第一生命保険株式会社は、「良き企業市民」として健全な社会の発展に貢献することを目指し、社会貢献活動に積極的に取り組んでおり、音楽分野におけるメセナ活動の一環としてトリトン・アーツ・ネットワークを2001年の設立時より支援しております。

トリトン・アーツ・ネットワークは設立以来、第一生命ホールを拠点に主催公演を行う「芸術活動」と、ホール外に出向いて音楽を提供し周辺地域の活性化を図る「コミュニティ活動」を2つの柱として積極的に活動されてきました。

「芸術活動」では、ミッションの1つである「音楽を広める」を柱として、多彩なコンサートを企画されております。ホールの特性を最大限に生かし、室内楽の中で最も繊細かつ奥深いジャンルの一つである「弦楽四重奏」にスポットを当てた「クアルテット・ウィークエンド・コンサート」や、人生における様々な場面に応じて音楽に出会う機会を提供していくための「ライフサイクルコンサート」など、芸術性の高さを維持しつつクラシックファンの裾野を着実に広げられています。

また、「コミュニティ活動」では、学校・病院・福祉施設等、音楽を必要としながらもホールに足を運べない人々に対して、質の高い生演奏をお届けする「アウトリーチ」という形で幅広く音楽芸術の浸透を図っておられます。

これらの活動を通して、地域社会への貢献に多大なるご尽力をいただき、多くの方々から支持を得られていることは、支援する私どもにとりましても大変喜ばしい限りです。

近年、「NPO」は、行政（第1セクター）、企業（第2セクター）と並ぶ第3のセクターとして、概念そのものが社会に定着し、その知見や専門性、幅広いネットワークを活かした、より実質的な社会の課題解決への期待が年々高まっています。

トリトン・アーツ・ネットワークにおかれましても、この度、文化庁の平成23年度「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」の「地域の中核劇場・音楽堂」として支援の対象に採択され、これまで以上に地域の文化芸術活動の活性化や住民の鑑賞機会の充実を図ることが求められています。今後、新たなステージに向けて、NPOという形態の強みを活かしながら、地域密着型の芸術活動団体を牽引するリーダー的存在として、ますますご発展されることを心よりお祈り申し上げます。

当社は、今後ともトリトン・アーツ・ネットワークへの支援を通じ、音楽芸術の更なる発展のために貢献してまいりたいと存じます。

D S R 推進室長 榊永 慎一郎

Ⅲ. 2010 年度の事業の成果

1. 全体の総括

2010 年度は、私共トリトン・アーツ・ネットワーク (TAN) にとって、2011 年の 10 周年を目前とした「プレ 10 周年」であり、音楽を「広める」「創る」「育てる」ことの追求により、あらゆる年代、あらゆる層の多くの人と音楽の楽しさを分かちあうことを目標にした。

TAN が拠点とする第一生命ホールでのホール事業（自主企画公演）としては、主催公演を 24 公演、共催公演を 5 公演、計 29 公演を行った。主催公演の内訳は、ライフサイクルコンサートが 9 公演、クアルテット・ウィークエンド (SQW) が 7 公演、新たにスタートしたウィークエンド・コンサートが 6 公演、特別公演が 2 公演である。（これらに加えて、「ロビーでよちよちコンサート」が 2 公演。）

「ライフサイクルコンサート」は、人生の様々なステージ (ライフサイクル) において、身近に音楽を楽しむ機会を提供する「広める」シリーズである。中央区では人口が増加しており、中でも特に乳幼児のいるファミリー層が増えていることから、2010 年度は、年齢に沿ったライフサイクルをよりきめ細かく設け、新たに 1 歳児から 3 歳児向けの「ロビーでよちよちコンサート」をスタートさせた。また、小学校でアウトリーチを経験した小学生が、更に興味を深めたいとなった時に、ホールで音楽を鑑賞できるようなステップとなることをねらって、4 歳以上対象の「夏休み キッズのためのコンサート」を行った。

「クアルテット・ウィークエンド」は、TAN の芸術活動の中核であり、室内楽の中でも最も繊細かつ奥深いジャンルのひとつである弦楽四重奏を様々な形で紹介する「創る」シリーズ。各団体による意欲的なプログラムが行われた。

ウィークエンド・コンサート「音楽のある週末」は、室内楽に適した第一生命ホールで、弦楽四重奏以外の本格的なプログラムを、週末に定期的にホールに足を運んで楽しんでいただくシリーズとしてスタートした。

また、若手演奏家を育成支援する「育てる」アドヴェントセミナーは 10 年目を迎え、ここで一旦この形でのセミナーを終了し、2011 年度からは新しいセミナーを立ち上げることにした。

コミュニティ事業は、40 か所で計 49 回実施した。中央区内の小学校で、4 年生に向けて毎年定期的に行っているアウトリーチ、和楽器の体験も含めた 1 校につき 3 日間の「Meet the 和楽器」、児童館でのアドヴェントセミナー修了生による弦楽器体験とコンサートなど、継続的な活動を実現できていることが重要である。また文部科学省の推進する「コミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」に対応するプログラムを試験的に小学校 2 校で行った。

文化ボランティア拠点づくり事業では、2010 年度は約 60 名の登録サポーター (ボランティア) が、日々の様々な業務で TAN の活動を支えている。協同企画としては、サポーターの中から有志で活動する「ロビーコンサート班」による、晴海トリトンスクエアのグラウンドロビーコンサートを年に 4 回、「オープンハウス実行委員会」による「オープンハウス」を 7 月に 1 回行った。また「育児支援コンサート」もサポーターなくしては成立しない企

画である。オープンハウスや育児支援は、登録していない当日のみのサポーターも多く参加するので、長年にわたり企画趣旨を理解し活動するサポーターがリーダー的存在として機能するからこそ、成立する企画になっているといえる。

評価事業は、第3期の評価委員による3年目の最終評価である2010年度事業の報告書が提出された。TANの自己評価に基づく評価と、ミッション（「広める」「創る」「育てる」）とその視点に基づく評価と有意義な提言をいただいた。

2. 自主企画公演事業


●2010年度自主企画公演事業（第一生命ホール）一覧


	公演日	開演	シリーズ	公演名	受益 対象者 数	ボラン ティア数	
1	2010年4月16日	(金) 19:00	TAN's Amici	山田和樹プザンソン国際指揮者コンクール優勝記念 東京混声合唱団特別演奏会	649	4	
2	2010年5月13日	(木) 11:30	ライフサイクルコンサート#50	屋の音楽さんぽ 第1回 藤原道山 尺八リサイタル	389	4	
3	2010年5月19日	(水) 19:00	TAN's Amici	日本音楽集団 第199回日本音楽集団定期演奏会 「日本音楽を呼び覚ました・三木稔作品」	407	3	
4	2010年5月22日	(土) 14:00	ウィークエンド・コンサート	音楽のある週末 <弦楽器の魅力> 第1回 千住真理子 バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全曲演奏会	711	4	
5	2010年5月29日	(土) 14:00	SQW#91	SQW2010-2011" Festa" ミロ・カルテット《オール・ベーターヴェン・プログラム》	225	2	
6	2010年5月30日	(日) 14:00	SQW#92	SQW2010-2011" Festa" ミロ・カルテット《アメリカへの旅》	313	1	
7	2010年6月4日	(金) 19:00	SQW#93	SQW2010-2011" Festa" ミロ・カルテット《2人の巨人I シューベルト×ベーターヴェン》	238	5	
8	2010年6月5日	(土) 14:00	SQW#94	SQW2010-2011" Festa" ミロ・カルテット《2人の巨人II ピアノ五重奏曲》	267	4	
9	2010年7月24日	(土) 14:00	ウィークエンド・コンサート	音楽のある週末 <弦楽器の魅力> 第2回 南 紫音 ヴァイオリン・リサイタル	340	1	
10	2010年8月8日	(日) 14:00	ライフサイクルコンサート#51	夏休み キッズのためのコンサート	413	6	
11	2010年8月9日	(月) 19:00	TAN's Amici	林光・東混 八月のまつり31	440	2	
12	2010年8月31日	(火) 11:30	ライフサイクルコンサート#52	屋の音楽さんぽ 第2回 菊池洋子 ピアノ・リサイタル 夏休みファミリースペシャル	376	5	
13	2010年9月11日	(土) 14:00	ウィークエンド・コンサート	音楽のある週末 <弦楽器の魅力> 第3回 藤原 真理 チェロ・リサイタル	360	4	
14	2010年9月15日	(水) 18:30	ライフサイクルコンサート#53	630コンサート～充電の1時間～ 塩谷哲・松本和将(ピアノ・デュオ)	596	2	
15	2010年10月9日	(土) 14:00	ウィークエンド・コンサート	音楽のある週末 第4回 イングリット・フリッター ピアノ・リサイタル	362	2	
16	2010年10月17日	(日) 14:00	SQW#95	SQW2010-2011" Galleria" エルデーディ弦楽四重奏団《シューベルト&シューマン、ロマンの胎動と爛熟》	303	5	
17	2010年11月9日	(火) 19:00	TAN's Amici	ショパンの愛したブレイエル・ピアノ～弦楽器と奏でる美しい詩～	320	3	
18	2010年11月17日	(水) 19:00	TAN's Amici	～200回記念シリーズ～《200の創造・未来へ》 日本音楽集団 第201回日本音楽集団定期演奏会「集団・∞の表現力へ～河地良智氏を迎えて」	245	3	
19	2010年11月20日	(土) 14:00	ウィークエンド・コンサート	音楽のある週末 第5回 梯 剛之 ピアノ・リサイタル	353	4	
20	2010年11月27日	(土) 15:00	ライフサイクルコンサート#54	ふたりでコンサートⅧ～オペラの楽しみ～	520	2	
2010年12月14日～12月23日(12/18除く)					アドヴェントセミナー	1	
21	2010年12月23日	(木) 10:30	特別	子どものためのクリスマスコンサート	601	2	
22	2010年12月23日	(木) 16:00	特別	クリスマスコンサート2010	332	0	
23	2011年1月20日	(木) 11:30	ライフサイクルコンサート#55	屋の音楽さんぽ 第3回 樋口達哉 & 成田博之 テノール&バリトン デュオ・リサイタル	453	3	
24	2011年1月29日	(土) 14:00	SQW#96	SQW2010-2011" Galleria" カルテット・エクセルシオ《Quartet+(プラス)》	428	3	
25	2011年2月2日	(水) 18:30	ライフサイクルコンサート#	630コンサート～充電の1時間～ 曾根麻矢子(チェンバロ) 古部賢一(オーボエ)	454	1	
26	2011年2月12日	(土) 14:00	ウィークエンド・コンサート	音楽のある週末 第6回 竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル	364	4	
27	2011年3月5日	(土) 14:00	ライフサイクルコンサート#58	育児支援コンサート～子どもを連れて、クラシックコンサート	575	56	
28	2011年3月10日	(木) 11:30	ライフサイクルコンサート#	屋の音楽さんぽ 第4回 高木綾子 フルート・リサイタル	275	4	
29	2011年3月13日	(日) 14:00	SQW#97	SQW2010-2011" Galleria" 古典四重奏団《魅惑のトリコロール》	192	2	
					計	11,501	142
1	2010年7月1日	(木) 10:00 11:30 13:00	ライフサイクルコンサート	ロビーでよちよちコンサート 第1回	108	5	
2	2010年12月6日	(月) 10:00 11:30 13:00	ライフサイクルコンサート	ロビーでよちよちコンサート 第2回	122	5	
					計	230	10
					合計	11,731	152


(1) ライフサイクルコンサート

人生の様々なステージに寄り添ったコンサートを提案するシリーズである。定着した4企画「はじめのいっぽ」改め「昼の音楽さんぽ」、「630 コンサート」、「ふたりでコンサート」、「育児支援コンサート」以外に、子供向けの企画として「ロビーでよちよちコンサート」、「夏休み キッズのためのコンサート」を行った。


「昼の音楽さんぽ」は、平日昼間に行う60分間のコンサートシリーズで、夜間に外出しづらい主婦や高齢者を主な対象としている。初心者だけが来場している訳ではない実状にあわせて、シリーズ名を「はじめのいっぽ」から「昼の音楽さんぽ」とした。若手、中堅の演奏家を紹介し、シリーズを通して様々な楽器やジャンルにふれていただければという思いから、尺八、ピアノ、歌、フルートで4回の公演を行った。シリーズ全体で安定した顧客数も得られているが、演奏家を選んで来場する方にも、シリーズ全体により興味を持っていただき、集客を増やしていきたい。

公演名	〈ライフサイクルコンサート #50〉 昼の音楽さんぽ 第1回 藤原道山 尺八リサイタル	
公演日時	5月13日(木)11:30開演	
チケット料金	一般¥1,500 2公演セット券(第1回&第2回)¥2,500	
入場者数	389名/キャパシティ767名(51%)	
出演者	藤原道山(尺八)	
演奏曲	トラディショナル:アメイジング・グレイス 流祖 中尾都山:鶴の巣籠 藤原道山編:日本の歌より ~さくらさくら(日本古謡) 故郷(岡野貞一) 荒城の月(滝廉太郎)~ 川江美奈子:かざうた 藤原道山:空 山本邦山:甲乙	
ねらい	「昼の音楽さんぽ」第1回目は邦楽界の新風、藤原道山による尺八リサイタルを開催し、和楽器の新たな魅力を知ってもらうことを目的とする。	
結果・振り返り	トリトン・アーツ・ネットワーク顧客向けの先行予約数が60枚とあまり反応がよくなかった。主催公演での尺八リサイタルは初めてであり、西洋音楽ファンの興味を惹くことができなかった。しかし、初めて聴いたお客様には新たに尺八の魅力に気づくことができ大変喜ばれ、また多くのお客様からは感動の声が寄せられた。 「クラシックはじめのいっぽ」に引き続き、お薦めの演奏家を紹介していくシリーズとして、どのような楽器でも興味を持って来場していただけるように、シリーズの信頼性を高めていく必要がある。	
協賛	アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)	


公演名	〈ライフサイクルコンサート #52〉 昼の音楽さんぽ 第2回 菊池洋子 ピアノ・リサイタル 夏休みファミリースペシャル	
公演日時間	8月31日(火)11:30開演	
チケット料金	一般¥1,500 2公演セット券(第1回&第2回)¥2,500	
入場者数	376名/キャパシティ767名(49%)	
出演者	菊池洋子(ピアノ)	
演奏曲	モーツァルト: フランスの歌「ああ、お母さん聞いて」による12の変奏曲 ハ長調 K.265(きらきら星変奏曲) ショパン: ワルツ第1番 変ホ長調 op.18「華麗なる大円舞曲」/ワルツ第3番 イ短調 op.34-2 /ワルツ第6番 変ニ長調 op.64-1「子犬のワルツ」 ショパン: 幻想即興曲 嬰ハ短調 op.66 メンデルスゾーン: ロンド・カプリッチョーソ ホ長調 op.14 ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ シュトラウス=グリュンフェルト: ウィーンの夜会 op.56(喜歌劇「こうもり」等のワルツの主題による演奏会用 パラフレーズ)	
ねらい	「昼の音楽さんぽ」第2回目は夏休み期間ということもあり、子どもにも親しみがあるピアノリサイタルを開催。	
結果・振り返り	夏休み最終日だったが、比較的親子の来場が多かった。(今年の仲道郁代も親子に好評だった。夏休み期間中のピアノ公演はピアノを習っている子ども向けに丁度良いように感じた。)また、プログラムが聴きなじみのある曲が多く好評だった。	
協賛	アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)	

公演名	〈ライフサイクルコンサート #55〉 昼の音楽さんぽ 第3回 樋口達哉 & 成田博之 テノール & バリトン デュオ・リサイタル	
公演日時	2011年1月20日(木)11:30開演	
チケット料金	一般¥1,500 2公演セット券(第3回&第4回)¥2,500	
入場者数	453名/キャパシティ767名(59%)	
出演者	樋口達哉(テノール) 成田博之(バリトン) 加藤昌則(ピアノ)	
演奏曲	ディ・カプア: 私の太陽(オー・ソレ・ミオ) ブツィ=ベツチャ: ロリータ デ・クルティス: 帰れソレントへ カルディッロ: つれない心(カタリ・カタリ) デ・クルティス: 忘れな草 ビゼー: 歌劇「カルメン」より“闘牛士の歌” プッチーニ: 歌劇「トスカ」より“星は光りぬ” 近藤薫: 手紙(ザ・ジェイド オリジナル曲) ヴェルディ: 歌劇「ドン・カルロ」より“我らの胸に友情を”	
ねらい	第3回目は男声4人の「ザ・ジェイド」でも活躍するテノール樋口達哉とバリトン成田博之のデュオ・リサイタルを開催。男声デュオの魅力を堪能していただく。	


結果・振り返り	出演者 3 名の息の合ったトークと演奏がお客様に大変好評だった。
協賛	アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)

公演名	〈ライフサイクルコンサート #58〉 昼の音楽さんぽ 第 4 回 高木綾子 フルート・リサイタル	
公演日時間	2011 年 3 月 10 日(木)11:30 開演	
チケット料金	一般¥1,500 2 公演セット券(第 3 回 & 第 4 回)¥2,500	
入場者数	275 名 / キャンパシティ 767 名(36%)	
出演者	高木綾子(フルート) 與口理恵(ピアノ)	
演奏曲	モンティ:チャールダッシュ ドップラー:3つの小品 エルガー:愛のあいさつ シューマン:3つのロマンス op.94 より ベーム:グランド・ポロネーズ ニ長調 op. 16	
ねらい	「昼の音楽さんぽ」第 4 回目は人気のフルート奏者高木綾子によるフルート・リサイタルを開催。プログラムはフルートの名曲の他、他の楽器の曲を編曲したものなど、フルートに詳しい方から初めて聴く方まで楽しんでいただけるよう組み立てた。	
結果・振り返り	フルートを習っているお客様が多かった。フルート教室にチラシを撒くなどフルートを習っている方が情報を得られる工夫をもっとすればよかった。 トーク、プログラム共に好評であった。	
協賛	アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)	


「630 コンサート」は、第一生命ホールがある晴海トリトンスクエアに勤務するオフィスワーカーを主なターゲットにしたシリーズで、年に 2 回行っている。うち 1 回は普段クラシックのコンサートに通いられない方にも親しみやすいようにジャンルを超えたクロスオーバーを、もう 1 回はクラシックを提供できるように意識して企画し、9 月は、ジャズとクラシックのピアノ・デュオ、2 月はチェンバロとオーボエによるバロック音楽の演奏を行った。毎回、狙いどおりの会社員が来場し、楽しんでいる姿がアンケートからうかがえる。

公演名	〈ライフサイクルコンサート #53〉 630 コンサート～充電の 1 時間～ 塩谷哲・松本和将(ピアノ・デュオ)	
公演日時	9 月 15 日(水)18:30 開演	
チケット料金	一般 ¥ 2,000 トリトポイントカード会員 ¥ 1,800	
入場者数	596 名 / キャンパシティ 767 名(77.7%)	
出演者	塩谷哲・松本和将(ピアノ・デュオ)	
演奏曲	ショパン:ポロネーズ第 6 番変イ長調「英雄」Op. 53(松本和将ソロ) ビル・エヴァンス:ワルツ・フォー・デビー(塩谷哲ソロ) 〈ジャズ&クラシックコーナー〉	


	J.S.バッハ: インヴェンション第1番ハ長調 BWV772 J.S.バッハ=塩谷哲: インヴェンション第1番 C.ペツォルト(伝 J.S.バッハ): メヌエット ト長調 BWV Anh114 C.ペツォルト=塩谷哲: 2つのメヌエット <ピアノ・デュオコーナー> 塩谷哲: ヴァルス ミヨー: スカラムーシュより第1楽章、第3楽章
ねらい	「630 コンサート～充電の1時間～」年2回の実施のうち1回は今回のように、クラシックと他ジャンルのクロスオーバー的な音楽を楽しんでいただいている。
結果・振り返り	ジャズピアニストとクラシックピアニストによる2台ピアノのコンサート。プログラミングの段階から出演者と話し合いの場を設け、ホール環境やシリーズの企画意図と出演者の特性がうまく融合した公演になった。演奏だけでなく軽妙なトークも人気で、内容への評価が高く再演を望む声も多い。また機会あれば再共演してもらいたいと思っている
助成	平成22年度文化庁芸術拠点形成事業

公演名	<ライフサイクルコンサート #56> 630 コンサート～充電の1時間～ 曾根麻矢子(チェンバロ)、古部賢一(オーボエ)	 <p style="text-align: right;">©小田 東</p>
公演日時	2011年2月2日(水)18:30 開演	
チケット料金	一般 ¥2,000 トリトポイントカード会員 ¥1,800	
入場者数	454名/キャパシティ767名(59.2%)	
出演者	曾根麻矢子(チェンバロ) 古部賢一(オーボエ)	
演奏曲	J.S.バッハ: 平均律クラヴィーア曲集第1巻第1番ハ長調 BWV846 よりプレリュード D.スカルラッチェ: ファンダンゴ、ソナタ ニ長調 K.492、ソナタ ニ短調 K.517 ★G.F.ヘンデル: ソナタ ヘ長調 op.1-5 P.ロワイエ: アルマンド ハ短調、スキタイ人の行進ハ短調 J.S.バッハ: ゴルトベルク変奏曲 BWV988 より「アリア」、「第30変奏曲」 ★J.S.バッハ: ソナタ変ホ長調 BWV1031 ★印: オーボエ&チェンバロ・デュオ	
ねらい	「630 コンサート～充電の1時間～」年2回の実施のうち1回はクラシックと他ジャンルのクロスオーバー的な音楽を、もう1回は今回のようにホールの特性が最大限生かされるクラシック音楽を、出演者によるトークを挟みながら気軽に楽しんでいただく。	
結果・振り返り	仕事帰りに1時間、音楽でくつろぎの時間をお届けする630コンサート。今回はチェンバロとオーボエによるバロックの世界を楽しんでいただいた。終演後には長くフランスに滞在したチェンバロの曾根麻矢子とドイツ留学の経験がある古部賢一を迎えてワインパーティを開催。お客様と交流した。当日はNHKのBSクラシック倶楽部の収録が入り、公演の様子が2011年4月に放映された。	
助成	平成22年度文化庁芸術拠点形成事業	


「ふたりでコンサート」は、子育てや仕事がひと段落した世代の夫婦が、もう一度一緒に過ごす時間を提案するものとして年に1回行っており、2010年度は7回目となる。第1部がオペラアリア(字幕付き)、第2部が映画音楽などポピュラー音楽も含めた名曲という構成で、毎年多くのお客さまからご好評を得ている。

公演名	〈ライフサイクルコンサート #54〉 ふたりでコンサートⅦ～オペラの楽しみ～	 <p style="text-align: right;">©小田 東</p>
公演日時	11月27日(土)15:00開演	
チケット料金	ペア¥5,000 一般¥3,000 学生(限定販売)¥1,000	
入場者数	520名/キャパシティ767名(68%)	
出演者	佐藤美枝子(ソプラノ) 鳥木弥生(メゾソプラノ) 小山陽二郎(テノール) 堀内康雄(バリトン) 浅野菜生子(ピアノ)	
演奏曲	<p>第1部 声の芸術～至福のオペラアリア</p> <p>モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」より“恋とはどんなものかしら” モーツァルト: 歌劇「ドン・ジョバンニ」より“カタログの歌” ドニゼッティ: 歌劇「ルチア」より“わが祖先の墓” オッフェンバック: 歌劇「ペリコーラ」より“酔っ払いの歌” バーンスタイン: 「キャンディード」より“着飾ってきらびやかに” マスネ: 歌劇「ヴェルテル」より“さようなら、お別れです(二重唱)” ヴェルディ: 歌劇「リゴレット」より“慕わしき人の名は” ヴェルディ: 歌劇「リゴレット」より“悪魔め鬼め” ヴェルディ: 歌劇「リゴレット」より“女心の唄” ヴェルディ: 歌劇「リゴレット」より“美しい恋の乙女よ(四重唱)”</p> <p>第2部 オペラ歌手が歌う麗しの名曲</p> <p>平井康三郎: 親舟小舟 山田耕筰: 赤とんぼ ラフマニノフ: ヴォカリーズ 小椋桂: 愛燦燦 アルフレッド・ニューマン: 慕情のテーマ ロイド・ウェバー: ミュージカル「キャッツ」より“メモリー” デ・クルティス: 帰れソレントへ ロルフ・ラヴランド: You raise me up フランチェスコ・サルトーリ: Con te Partirò (Time to say Goodbye)</p>	
ねらい	子育てがひと段落した世代のご夫婦と一緒に音楽を聴く楽しみを提案するコンサート。毎年、日本オペラ振興会の新進気鋭の歌手およびベテランの歌手に登場いただき、気軽にオペラのアリアや懐かしの歌曲を楽しんでいただき、これからの音楽鑑賞のきっかけになることを目的としている。	
結果・振り返り	今年で7回目を迎えた「ふたりでコンサート」は定着した人気がある。毎年、第1部と第2部は趣向を変えてお客様に声楽の様々な楽しみ方をご案内している。 但し、公演時間が毎年延びてしまうので来年度はプログラムを短めに検討する必要がある。	
協賛	第一生命保険株式会社	
助成	平成22年度文化庁芸術拠点形成事業	
協力	鴻星海鮮酒家、OTTIMO kitchen due passi、晴海トリトン(住商アーバン開発株式会社)	


「育児支援コンサート」は、その名のとおり、子育て中のご家族を応援するコンサートであり、第1部は、子どもは音楽スタジオで音楽体験を、親はホールでコンサートをそれぞれ楽しみ、第2部は親子一緒に「音楽と絵本」を体験するという構成になっている。約150名の子どもを4つの部屋で預かる「音楽スタジオ」は、サポーターの支えなくては実現しない、TANならではの企画である。毎年人気のコンサートであり、今年も早々に完売となった。


公演名	〈ライフサイクルコンサート#57〉 育児支援コンサート ～子どもを連れて、クラシックコンサート	 <p>©大窪道治 / 株式会社福音館書店</p>
公演日時	2011年3月5日(土)14:00 開演	
チケット料金	大人 ¥2,000(中学生以上) 子ども ¥1,000(4歳以上) 無料託児サービスあり(0歳～3歳)	
入場者数	575名 / キャパシティ 767名(75%)	
出演者	小川典子(ピアノ) 「道」クワルテット(弦楽四重奏)【館市正克(第1ヴァイオリン) 立林勉(第2ヴァイオリン) 三浦克之(ヴィオラ) 林一公(チェロ)】 森田樹優(朗読)	
演奏曲	<p>第1部(約30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大人のためのコンサート～小川典子ピアノ・リサイタル～(小学生以上) モーツァルト:ピアノ・ソナタ K.330 より第1楽章 / ピアノ・ソナタ K.310 より第3楽章 ショパン:幻想即興曲 シューマン:「子どもの情景」より リスト:ラ・カンパネラ ●子どものための音楽スタジオ(2004年4月2日～2007年4月1日生まれの幼児対象) 年齢順に分かれて楽器を知ってもらうワークショップ&ミニ・コンサート <p>第2部(約45分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●みんな一緒にのコンサート(出演者全員によるステージ) ★ピアノ五重奏を聴いてみよう! ドヴォルザーク:ピアノ五重奏曲イ長調 op.81 より ★音楽と絵本「こんとあき」(絵・作:林明子 福音館書店出版) 	
ねらい	子育て中の親御さんに、第1部では子どもと離れてゆっくりと音楽を楽しんでいただき、第2部では親子一緒に絵本と音楽を聴き、共通の音楽体験をしていただく企画。「育児支援」というタイトルの通り、お父さん・お母さんにリフレッシュしていただくことを目的としている。	
結果・振り返り	今年度も公演1か月前にはチケットが完売し、特に先行予約でのリピーターが多かった。しかし、そのためチラシが2万枚近く余ってしまった。チラシの印刷に費用をあまりかけずに済むよう今後検討していきたい。 音楽と絵本の「こんとあき」は人気の絵本で、手作りの人形「こん」の演出も好評であった。	
助成	平成22年度文化庁芸術拠点形成事業	
協賛	第一生命保険株式会社	
後援	中央区・中央区教育委員会	
協力	株式会社福音館書店、ESSC(エスク)	

育児支援コンサートの音楽スタジオに参加できるのは、幼稚園年齢の子どもだが、この年齢を超えてもホールで音楽を楽しんでもらえるような企画を増やしたいと新設したのが「夏休み キッズのためのコンサート」である。室内オーケストラで様々な楽器と名曲を楽しんでもらえるように企画をしたが、夏休みという時期のためか、企画内容が対象にうまく伝わらなかったか、集客に苦労する結果となった。子どもは増えている地域であり、ニーズはあるはずなので、内容を見直して、今後につなげていきたい。

公演名	〈ライフサイクルコンサート #51〉 夏休み キッズのためのコンサート	 <p style="text-align: right;">©小田 東</p>
公演日時	8月8日(日)14:00 開演	
チケット料金	大人 ¥2,500(中学生以上) 子ども ¥1,500(4歳以上) 無料託児サービスあり(0歳~3歳)	
入場者数	414名/キャパシティ706名(59%)	
出演者	ARCUS(オーケストラ) 坪井直樹(司会)	
演奏曲	グリーク:組曲「ホルベアの時代から」op.40 より前奏曲 ハイドン:ディヴェルティメントより アンダーソン:トランペット吹きの子守唄 アンダーソン:ワルツィング・キャット プロコフィエフ:交響曲第1番二長調「古典的交響曲」op.25	
ねらい	育児支援コンサートの次のステップとして、また小学校でアウトリーチを経験した小学生が、更に興味を深めたいとなった時に、ホールで音楽を鑑賞できるようなステップとなることをねらった親子で楽しめるコンサート。司会者がオーケストラの様々な楽器を紹介したり、演奏を聴きながらネコ真似で参加したりと子どもが飽きない工夫を凝らし、子どものオーケストラコンサートデビューのきっかけとなることを目的としている。	
結果・振り返り	夏休みのファミリー向けコンサートとして今年度からスタートした企画であったが、都内ではオーケストラの夏休みコンサートが目白押しの中、チケット発売期間が1か月という短さもあり券売に苦労した。また、この地域では8月上旬は祭りや東京湾花火大会があるなど、子どもと出掛けるイベントが多いことも要因の一つと考えられるので来年度は時期を再検討したい。司会者が付き、一つ一つの楽器の紹介があるなどプログラムは好評であった。	
助成	平成22年度文化庁芸術拠点形成事業	
後援	中央区・中央区教育委員会	

ホールでコンサートを聴ける年齢は、4歳くらいからが適当だと考えているが、それ以前の年齢の子どもたちに音楽を聞かせたいというニーズは多い。1歳児から3歳児でも楽しめるよう、客席内でなくロビーで、保護者と演奏家と同じカーペット上に丸く輪になり座って、乳幼児がその輪の中でよちよちしながら自由に音楽を楽しむ「ロビーでよちよちコンサート」をスタートさせた。1回あたり20組、1日3回公演を年に3回（うち1回は東日本大震災直後の実施予定であったため、2011年度5月に延期）予定した。特に1歳児、2歳児は定員を大きく超える申し込みがありニーズを実感した。またアドヴェントセミナー修了生を含む若手演奏家たちが積極的にアイデアを出し合い、オリジナルのプログラムを作った。

公演名	ロビーでよちよちコンサート 第1回	
公演日時	7月1日(木) ①10:00~10:45(1~2歳児対象) ②11:30~12:15(1~2歳児対象) ③13:00~13:45(3歳児対象)	
チケット料金	親子1組(大人1人、子ども1人) ¥500	
入場者数	①20組 ②21組 ③13組	
出演者	中川直子(ヴァイオリン) 海老澤洋三(チェロ) 高橋朋子(ホルン) 五田詩朗(打楽器)	
演奏曲	バガニーニ:カンタービレ(ヴァイオリン) ベートーヴェン:二重奏曲(ヴァイオリン&チェロ) ぞうさん、たなばたさま(チェロ) モーツァルト:ホルン協奏曲第1番より(ホルン、ヴァイオリン、チェロ) 大きな古時計(ホルン) 聖者の行進(全員) L.モーツァルト:おもちゃのシンフォニー(全員)	
ねらい	ホールの中で静かに座ってコンサートを聴くにはまだ早い年齢だが、小さい頃からのいい音楽を聴かせてあげたい、という乳幼児とその保護者の方向けの、ロビーで行う小さなコンサート。当企画を卒業年齢になった子どもは、育児支援コンサート入場可能年齢になり、ホールに来る機会を継続的に持てるようライフサイクル・コンサートが組まれている。 また、弦楽器の出演者にはアドヴェント修了生を起用し、プログラミングの話合いからリハーサルを重ねるなど、若手演奏家支援という役割も担っている。	
結果・振り返り	今年から始めた1-3歳児を持つ親子のための新しい企画。年3回を予定。1-2歳のクラスが人気が高く、抽選になった。アンケートは54組の親子参加で52枚という、非常に高い回収率だった。全体的に好評の声が高く、次回開催を期待しているというお客様が多い。プロの演奏者による生の演奏にふれられたこと、近くで演奏家と触れ合えたことを、子どもが自由に動き回れたことに対する評価が高かった。	


公演名	ロビーでよちよちコンサート 第2回	 <p style="text-align: right;">©藤本史昭</p>
公演日時	12月6日(月) ①10:00~10:45(1~2歳児対象) ②11:30~12:15(1~2歳児対象) ③13:00~13:45(3歳児対象)	
チケット料金	親子1組(大人1人、子ども1人) ¥500	
入場者数	①20組 ②19組 ③22組	
出演者	中川直子(ヴァイオリン) 海老澤洋三(チェロ) 高橋朋子(ホルン) 五田詩朗(打楽器)	
演奏曲	<p>パガニーニ:カンタービレ(ヴァイオリン)</p> <p>ベートーヴェン:二重奏曲(ヴァイオリン&チェロ)</p> <p>もみの木(チェロ)</p> <p>モーツァルト:ホルン協奏曲第1番より(ホルン、ヴァイオリン、チェロ)</p> <p>大きな古時計(ホルン)</p> <p>ジンゲルベル(全員)</p> <p>L.モーツァルト:おもちゃのシンフォニー(全員)</p>	
ねらい	第1回に同じ	
結果・振り返り	7月に続く2回目のロビーでよちよちコンサート。今回も1-2歳のクラスが人気が高く、3倍以上の抽選になった。3歳児は応募数が少なめであったため、締め切り後に追加募集を行った。全体的にプログラムに対して好評の声が多い。12月の開催で会場のロビーにはクリスマスツリーもあったので、クリスマスソングなども取り入れて、楽しいコンサートとなった。	


(2) クアルテット・ウィークエンド

オペラやオーケストラに匹敵する重要かつ膨大な作品を持つ弦楽四重奏というジャンルの振興と聴衆の拡大を目的とするシリーズ。

「フェスタ」では、アメリカのミロ・クアルテットが、4日間にわたり第一生命ホールで弦楽四重奏の可能性が追求するプログラムを展開した。集客には苦勞したが、中でもベトナム戦争をテーマにし、打楽器などを使用したクラム作曲「ブラック・エンジェルス」の演奏など、内容は非常に充実しており、実施した価値があった。

「ガレリア」では、国内3団体がテーマを設けて各1公演を行った。クアルテット・エクセルシオは、共演者を入れた「Quartet+ (クアルテット・プラス)」をスタートし、シリーズに新たな客層を呼び込んだ。古典四重奏団は今回も公演前に無料のレクチャーコンサートを行った。

公演名	〈クアルテット・ウィークエンド 2010-2011“Festa”〉 ミロ・クアルテット 《オール・ベートーヴェン・プログラム》	
公演日時	5月29日(土)14:00開演	
チケット料金	オールシーズン(全7公演)¥16,100 Festa券(5・6月の4公演)¥9,600 単独券 一般¥3,500 シニア¥2,500(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)	
入場者数	225名/キャパシティ767名(29.3%)	
出演者	ミロ・クアルテット [ダニエル・チン/山本サンディー智子(ヴァイオリン) ジョン・ラジェス(ヴィオラ) ジョシュア・ジンデル(チェロ)]	
演奏曲	ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第4番ハ短調 op.18-4 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第16番ヘ長調 op.135 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第8番ホ短調 op.59-2「ラズモフスキー第2番」	
ねらい	海外より、芸術的水準の高い演奏家を招聘、ベートーヴェンの前期、中期、後期の弦楽四重奏曲からその生涯を振り返るプログラムで、作曲家をより理解してもらう。	
結果・振り返り	主にアメリカのオースティンで活動を続けるミロ・クアルテットの4日間にわたる公演の1日目。オール・ベートーヴェン・プログラムで彼らの思い描くベートーヴェン像を表現した公演となった。	


公演名	クアルテット・ウィークエンド 2010-2011“Festa” ミロ・クアルテット 《アメリカへの旅》	
公演日時	5月30日(日)14:00開演	
チケット料金	オールシーズン(全7公演)¥16,100 Festa券(5・6月の4公演)¥9,600 単独券 一般¥3,500 シニア¥2,500(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)	
入場者数	314名/キャパシティ767名(40.9%)	


出演者	ミロ・クアルテット 〔ダニエル・チン／山本サンディー智子(ヴァイオリン) ジョン・ラジェス(ヴィオラ) ジョシュア・ジンデル(チェロ)〕
演奏曲	ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲第 12 番へ長調 op.96 B.179「アメリカ」 ケヴィン・プッツ:クレド(2007)(日本初演) ジョージ・クラム:ブラック・エンジェルズ(1970)
ねらい	海外より、芸術的水準の高い演奏家を招聘、彼らの出身国であるアメリカをテーマに様々な局面から理解を深めてもらう。特にベトナム戦争に触発されたブラック・エンジェルズやミロ・クアルテットのために書かれたクレドは近現代のアメリカを物語る作品として貴重な演奏の機会となる。
結果・振り返り	プッツの委嘱作品の日本初演や、演奏会で取り上げられる機会の少ないクラムのブラック・エンジェルズ(電子楽器、打楽器、声のための弦楽四重奏曲)による意欲的なプログラム。この 2 曲の演奏前にはミロ・クアルテットによる短い解説もあった。チケット販売には苦勞をしたが、内容は非常に濃いものになり、来場者から称賛の声が多く寄せられた。

公演名	〈クアルテット・ウィークエンド 2010-2011“Festa”〉 ミロ・クアルテット 《2人の巨人 I シューベルト×ベートーヴェン》	 <p>©Faustinus_Deraet</p>
公演日時	6月4日(金)19:00 開演	
チケット料金	オールシーズン(全7公演)¥16,100 Festa 券(5・6月の4公演)¥9,600 単独券 一般¥3,500 シニア¥2,500(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)	
入場者数	238名/キャパシティ767名(31.0%)	
出演者	ミロ・クアルテット 〔ダニエル・チン／山本サンディー智子(ヴァイオリン) ジョン・ラジェス(ヴィオラ) ジョシュア・ジンデル(チェロ)〕	
演奏曲	シューベルト:弦楽四重奏曲第 15 番ト長調 op.161 D.887 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第 13 番変ロ長調 op.130/133「大フーガ付」	
ねらい	海外より、芸術的水準の高い演奏家を招聘、音楽史上の巨人である作曲家シューベルトとベートーヴェン 2 名の作品を対比させて取り上げるにより偉大な彼らの物語を表現する公演。	
結果・振り返り	3 日目はシューベルトとベートーヴェンという 2 人の偉大な作曲家を取り上げたプログラム。安定感のある演奏により、お客様の満足度は高かった。	


公演名	〈クアルテット・ウィークエンド 2010-2011“Festa”〉 ミロ・クアルテット 《2人の巨人 II ピアノ五重奏曲》	 <p>©小田 東</p>
公演日時	6月5日(土)14:00 開演	
チケット料金	オールシーズン(全7公演)¥16,100 Festa 券(5・6月の4公演)¥9,600 単独券 一般¥3,500 シニア¥2,500(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)	
入場者数	267名/キャパシティ767名(34.81%)	
出演者	ミロ・クアルテット 〔ダニエル・チン／山本サンディー智子(ヴァイオリン) ジョン・ラジェス(ヴィオラ) ジョシュア・ジンデル(チェロ)〕	

	共演:野原みどり(ピアノ)
演奏曲	ブラームス:ピアノ五重奏曲へ短調 op.34 ドヴォルザーク:ピアノ五重奏曲イ長調 op.81 B.155
ねらい	海外より、芸術的水準の高い演奏家を招聘、偉大な 2 名の作曲家を取り上げる公演の 2 回目。ブラームスとドヴォルザークのピアノ五重奏による、彼らの魅力を探る公演。
結果・ 振り返り	共演にピアニストの野原みどりを迎え、2 曲のピアノ五重奏曲を披露。白熱し息のあった演奏に弦楽四重奏愛好家のみならず、広く一般的なクラシックファン層へも弦楽四重奏の魅力を伝えることができた。

公演名	〈クアルテット・ウィークエンド 2010-2011“Galleria”〉 エルデーディ弦楽四重奏団 《シューベルト&シューマン、ロマンの胎動と爛熟》	
公演日時	10月17日(日)14:00 開演	
チケット料金	オールシーズン(全7公演)¥16,100 Galleria 券(10月、11年1-3月の3公演)¥7,200 単独券 一般¥3,500 シニア¥2,500(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)	
入場者数	303名/キャパシティ767名(39.5%)	
出演者	エルデーディ弦楽四重奏団 〔蒲生克郷/花崎淳生(ヴァイオリン) 桐山建志(ヴィオラ) 花崎薫(チェロ)〕	
演奏曲	シューマン:弦楽四重奏曲第3番イ長調 op.41-3 シューベルト:弦楽四重奏曲第14番ニ短調 D.810「死と乙女」	
ねらい	主に国内で活動をするクアルテットと共催という形で、ともに演奏会を作り上げていく。 演奏家が自らが演奏したいプログラムに取り組む。	
結果・ 振り返り	生誕200年を迎えたシューマンを取り上げたエルデーディ弦楽四重奏曲は、シューベルトからのロマン派の軌跡をたどる構成の演奏会を行った。集客には苦労したが、芸術的な水準が高い演奏会となった。	
助成	財団法人 日本室内楽振興財団	


公演名	〈クアルテット・ウィークエンド 2010-2011“Galleria”〉 クアルテット・エクセルシオ 《Quartet+(プラス)》	
公演日時	2011年1月29日(土)14:00 開演	
チケット料金	オールシーズン(全7公演)¥16,100 Galleria 券(10月、11年1-3月の3公演)¥7,200 単独券 一般¥3,500 シニア¥2,500(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)	
入場者数	428名/キャパシティ767名(55.8%)	
出演者	クアルテット・エクセルシオ 〔西野ゆか/山田百子(ヴァイオリン) 吉田有紀子(ヴィオラ) 大友肇(チェロ)〕 共演:小山実稚恵(ピアノ)	
演奏曲	ポロディン:弦楽四重奏曲第2番ニ長調 リゲティ:弦楽四重奏曲第1番「夜の変容」 シューマン:ピアノ五重奏曲変ホ長調 op.44	
ねらい	主に国内で活動をするクアルテットと共催という形で、ともに演奏会を作り上げていく。 弦楽四重奏にほかの楽器をプラスして、その可能性を追求する。	


結果・ 振り返り	“弦楽四重奏に違う楽器を加えたら、室内楽の楽しみ方は無限に広がるに違いない”というコンセプトとともに、人気・実力とも日本を代表するピアニストの小山実稚恵を迎えた公演。チケットの販売枚数も伸び、多くのお客様に喜ばれた公演。弦楽四重奏愛好家からは、特にリグティの演奏に対する評価が高かった。
助成	財団法人 日本室内楽振興財団

公演名	〈クアルテット・ウィークエンド 2010-2011“Galleria”〉 古典四重奏団 《魅惑のトリコロール》	 <p style="text-align: right;">©藤本史昭</p>
公演日時	2011年3月13日(日)14:00 開演	
チケット料金	オールシーズン(全7公演)¥16,100 Galleria 券(10月、11年1-3月の3公演)¥7,200 単独券 一般¥3,500 シニア¥2,500(60歳以上) ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)	
入場者数	192名/キャパシティ767名(25.03%)	
出演者	古典四重奏団 〔川原千真(第1ヴァイオリン) 花崎淳生(第2ヴァイオリン) 三輪真樹(ヴィオラ) 田崎瑞博(チェロ)〕	
演奏曲	ラヴェル:弦楽四重奏曲へ長調 フォーレ:弦楽四重奏曲ホ短調 op.121 ドビュッシー:弦楽四重奏曲第1番ト短調 op.10	
ねらい	主に国内で活動をするクアルテットと共催という形で、ともに演奏会を作り上げていく。 演奏家が取り上げることの少なかったフランスの作曲家を取り上げ、それぞれの異なる魅力を表現する。	
結果・ 振り返り	3/11の東日本大震災の影響により、来場を控えたお客様も多く、入場者数は200名足らずにとどまった。余震が続く中、演奏会を開催する事に対して迷いがあったが、来場者から多くの好意的な意見を頂いた。また、被災した方へおくりられたアンコール曲に、感謝の声も聞かれた。	
助成	財団法人 日本室内楽振興財団	


(3) ウィークエンド・コンサート


「音楽のある週末」は、弦楽四重奏以外の室内楽やリサイタルを、週末に定期的にホールで楽しめるシリーズとして新たに立ち上げた。前半は「弦楽器の魅力」と題し、バッハの無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全曲演奏を含め、ヴァイオリンとチェロのリサイタルを3回行い、後半3回のうち2回は生誕200周年のショパンに関連するプログラムを組み、若手からベテランの演奏家による様々な演奏をおおくりした。出演者にひかれて、初めて第一生命ホールに来場する聴衆も多く、これらの聴衆にどのように他の公演にも足を運んでもらうようにするかは課題である。


公演名	音楽のある週末 <弦楽器の魅力> 第1回 千住真理子 バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全曲演奏会	 <p style="text-align: right;">©小田 東</p>
公演日時	5月22日(土)14:00 開演	
チケット料金	全席指定 S¥5,000 A¥4,000 B¥3,500 3公演セット券S¥11,500	
入場者数	711名/キャパシティ767名(92.7%)	
出演者	千住真理子(ヴァイオリン)	
演奏曲	J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番ト短調 BWV1001 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第1番ト短調 BWV1002 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第3番ハ長調 BWV1005 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第3番ホ長調 BWV1006 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第2番イ短調 BWV1003 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番ニ短調 BWV1004	
ねらい	「音楽のある週末」前期3回は、日本を代表する弦楽器奏者千住真理子、南紫音、藤原真理の3人がそれぞれ「弦楽器の魅力」を余すことなく伝えるプログラムをお届けする。千住真理子には1日でバッハの無伴奏ソナタとパルティータ全6曲を演奏する、自身が記念の年に必ず取り組むという意欲的な企画で、シリーズのオープニングを飾ってもらった。	
結果・振り返り	1日でバッハの無伴奏ソナタとパルティータ全6曲を演奏する、千住真理子が記念の年に必ず取り組むという意欲的な企画。知名度・人気の高い出演者で、シリーズ初回にふさわしい完売公演となった。初めてホールに来る方も多く、ホールを知ってもらうよい機会になった。	


公演名	音楽のある週末 <弦楽器の魅力> 第2回 南 紫音ヴァイオリン・リサイタル	 <p style="text-align: right;">©小田 東</p>
公演日時	7月24日(土)14:00 開演	
チケット料金	全席指定 S¥4,000 A¥3,000 B¥2,500	
入場者数	340名/キャパシティ767名(44.3%)	
出演者	南 紫音(ヴァイオリン) 江口 玲(ピアノ)	
演奏曲	イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第6番ホ長調 op.27-6 モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ 第28番ホ短調 K.304(300c) モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ 第25番ト長調 K.301(293a) ショスタコーヴィチ(ツィガーノフ編):4つの前奏曲 op.34-10,15,16,24 プロコフィエフ:ヴァイオリン・ソナタ第2番ニ長調 op.94bis ラヴェル:ツィガース	

ねらい	シリーズ第 2 回目の南紫音には、現役音大生らしい、彼女の「今」が見える聴き応えある曲目が揃った。
結果・振り返り	当日の内容は、その誠実な演奏スタイルに評価も高かったので、彼女のように若く実力のあるアーティストも定期的に取り上げられるシリーズになればと思う。新しく始まったばかりのシリーズで、まだ固定客を持っていないので、集客としては厳しい結果となった。

公演名	音楽のある週末 <弦楽器の魅力> 第 3 回 藤原真理 チェロ・リサイタル	
公演日時	9 月 11 日(土)14:00 開演	
チケット料金	全席指定 S ¥4,000 A ¥3,000 B ¥2,500 3 公演セット券 S ¥11,500	
入場者数	360 名 / キャパシティ 767 名(46.9%)	
出演者	藤原真理(チェロ) 倉戸テル(ピアノ)	
演奏曲	ショパン:チェロ・ソナタ ト短調 op.65 J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第 5 番ハ短調 BWV1011 ルビンシュタイン(ポツパー編):メロディーop.3-1 ルビコフ:マズルカ op.8-9 ポロディン:セレナータ サン＝サーンス:白鳥	
ねらい	藤原真理には、2010 年がショパン生誕 200 年記念だったということもあり、ショパンのチェロ・ソナタをメインに小品や無伴奏も加えた、チェロの魅力があふれるプログラムとなった。	
結果・振り返り	ロビーコンサートにも何度もご出演いただいていた藤原真理によるリサイタル。ロビーや 1 時間のコンサートとは違い、2 時間じっくり楽しんでいただいた。アンケートからは内容に好評の声が多い。ただ、今回は公演日近くに関東圏内で同出演者による演奏会があり券売に多少影響が出る結果となった。双方でお客様の取り合いになるので、前後の予定等もあらかじめ把握した上で動き始める必要があると感じた。	

公演名	音楽のある週末 第 4 回 イングリット・フリッター ピアノ・リサイタル	
公演日時	10 月 9 日(土)14:00 開演	
チケット料金	全席指定 S ¥5,000 A ¥4,000 B ¥3,500 3 公演セット券 S ¥13,500(第 4 回～第 6 回)	
入場者数	362 名 / キャパシティ 767 名(47.2%)	
出演者	イングリット・フリッター(ピアノ)	
演奏曲	ベートーヴェン:創作主題による 32 の変奏曲ハ短調 WoO 80 ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第 17 番 二短調 op.31-2 「テンペスト」 ショパン:ワルツ 第 2 番 変イ長調 op.34-1 「華麗なる円舞曲」/ 第 10 番 口短調 op.69-2 / 第 6 番 変ニ長調 op.64-1 「小犬のワルツ」/ 第 7 番 嬰ハ短調 op.64-2 / 第 8 番 変イ長調 op.64-3 / 第 1 番 変ホ長調 op.18 「華麗なる大円舞曲」/ 第 11 番 変ト長調 op.70-1 / 第 19 番 短調(遺作) / 第 16 番 変イ長調(遺作) / 第 5 番 変イ長調 op.42 「大円舞曲」	
ねらい	ショパン生誕 200 周年を記念して、2000 年にショパンコンクールで第 2 位を受賞し、ショパンの演奏に定評のあるイングリット・フリッターによる本格的なピアノリサイタルをお届けする。	
結果・振り返り	ショパンコンクールで 2 位の受賞歴があることから、ショパンの印象が強いフリッターが、ベートーヴェンを演奏することで話題となった公演になった。アンケートでもショパンだけでなくベートーヴェンを評価する声が多い。当コンサートは NHK によるテレビ収録が入り、BS クラシック倶楽部で放映された。	


公演名	音楽のある週末 第5回 梯剛之 ピアノ・リサイタル	
公演日時	11月20日(土)14:00開演	
チケット料金	全席指定 S ¥5,000 A ¥4,000 B ¥3,500 3公演セット券S ¥13,500(第4回～第6回)	
入場者数	353名/キャパシティ767名(46%)	
出演者	梯剛之(ピアノ)	
演奏曲	《オール・ショパン・プログラム》 ショパン: 舟歌 嬰へ長調 op.60 幻想即興曲 嬰ハ短調 op.66 スケルツォ第2番 変ロ短調 op.31 ワルツ第3番 イ短調 op.34-2 アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 op.22 ピアノ・ソナタ第3番 ロ短調 op.58	
ねらい	前回に引き続きショパン・イヤーを記念して、ショパンに深い思い入れのあるピアニスト梯剛之によるオール・ショパン・プログラムをお届けした。	
結果・ 振り返り	オール・ショパン・プログラムとして企画した梯剛之によるピアノ・リサイタル。その音楽への真摯な取り組みや姿勢がファンクラブをはじめとして、多くのお客様からの支持を得ている。当日はアンコールも予定曲以上に演奏し、客席内も大いに盛り上がった。	


公演名	音楽のある週末 第6回 竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル	
公演日時	2011年2月12日(土)14:00開演	
チケット料金	全席指定 S ¥5,000 A ¥4,000 B ¥3,500 3公演セット券S ¥13,500(第4回～第6回)	
入場者数	364名/キャパシティ767名(47.5%)	
出演者	竹澤恭子(ヴァイオリン) 江口玲(ピアノ)	
演奏曲	ルクレール:ヴァイオリン・ソナタ 二長調 op.9-3 フォーレ:ヴァイオリン・ソナタ第1番イ長調 op.13 レイナルド・アーン:ノクターン/ロマンス イ長調 ラヴェル:ハバネラの形式による小品 ドビュッシー:亜麻色の髪の乙女 フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調	
ねらい	第6回は、世界的に活躍をするヴァイオリニスト竹澤恭子によるリサイタル。18世紀から20世紀に至るフランスのヴァイオリン音楽を、近年フランスに拠点を移した竹澤恭子の演奏で楽しむ。	
結果・ 振り返り	昨年、長く住んだニューヨークからパリに拠点を移したヴァイオリニスト竹澤恭子による、フランス・プログラム。聴きごたえのあるソナタから、現地で出会った作品や日本人にも馴染み深い小品まで揃え、充実の内容には好評の声が多くあがった。	

(4) 特別コンサート

10年目を迎えたアドヴェントセミナーには、音楽大学生を中心に17名の若手演奏家が参加し、クリスマス前の約10日間のセミナーで講師とともに室内楽と弦楽合奏に没頭した。その成果を発表する「クリスマスコンサート」はなかなか集客に結び付かないが、午前中に1時間で行う抜粋版「子どものためのクリスマスコンサート」は前年度をさらに上回る来場者があり完売となった。


これまでもアドヴェントセミナー受講生には、セミナー修了後にTANのコミュニティ活動に参加してもらう機会があったが、2010年度でこのセミナーは一度幕を閉じる。2011年度からは、同じく松原勝也氏のもと、コミュニティ活動に特化した「室内楽アウトリーチセミナー」を行い、今、社会に求められている音楽家を育成してゆく。


公演名	子どものためのクリスマスコンサート	
公演日時	12月23日(木・祝)10:30開演	
チケット料金	大人¥1,000(中学生以上) 子ども¥500(4歳以上)	
入場者数	601名/キャパシティ714名(84.1%)	
出演者	松原勝也(ヴァイオリン) 川崎和憲(ヴィオラ) 山崎伸子(チェロ) アドヴェント弦楽合奏団	
演奏曲	モーツァルト: デイヴェルティメント 二長調 K.136 パッヘルベル: カノン 二長調 J.S.バッハ: 主よ、人の望みの喜びよ グルーバー: きよこの夜 ブリテン: シンプル・シンフォニーop.4より第2楽章・第3楽章 ドヴォルザーク: 弦楽セレナード ホ長調 op.22より第5楽章	
ねらい	若い弦楽器奏者のためのアドヴェントセミナーの成果を発表する場の1つとして行う公演。 10日間の実践的なセミナーを通して、技術的な面だけでなく、作品への深い理解と表現力の向上を目指し、その完成度を披露する。子どもという鋭い感性を持つ対象者に弦楽アンサンブルの美しさを理解してもらおう。また、楽器紹介など音楽への興味を促す事も目的の一つとする。	
結果・振り返り	子どもに生の演奏を聴かせたいという保護者の思い、安価で子どもと一緒にでかけやすい時間帯という理由からだろうか、非常に多くのお客様に来場頂いた。本公演は、弦楽器セミナーの受講生が講師とともにセミナーの成果を発表する場となっていることから、受講生がそれぞれの楽器ごとに趣向をこらした楽器紹介をするなど、演奏以外の面でも得るものがあったのではないかと思う。	
助成	社団法人日本演奏連盟/中央区・中央区教育委員会/平成22年度文化庁芸術拠点形成事業	
協賛	第一生命保険株式会社	


公演名	クリスマスコンサート 2010	
公演日時	12月23日(木・祝)16:00開演	
チケット料金	一般¥3,000 シニア¥2,000(60歳以上) ヤング¥1,000(小学生以上、25歳以下)	
入場者数	332名/キャパシティ714名(46.4%)	
出演者	松原勝也(ヴァイオリン) 川崎和憲(ヴィオラ) 山崎伸子(チェロ) アドヴェント弦楽合奏団	
演奏曲	モーツァルト:ディヴェルティメント 二長調 K.136 パッヘルベル:カノン 二長調 J.S.バッハ:主よ、人の望みの喜びよ グルーバー:きよしこの夜 ブリテン:シンプル・シンフォニーop.4 フランセ:弦楽三重奏曲 ドヴォルザーク:弦楽セレナード ホ長調 op.22	
ねらい	若い弦楽器奏者のためのアドヴェントセミナーの成果を発表する場の1つとして行う公演。10日間の実践的なセミナーを通して、技術的な面だけでなく、作品への深い理解と表現力の向上を目指し、その完成度を披露する。	
結果・振り返り	若い弦楽器奏者のためのアドヴェントセミナーの成果発表の場の1つとして行った公演。企画の趣旨を良く理解してくださっている方からは、多くのあたたかい言葉が寄せられていた。	
助成	社団法人日本演奏連盟/平成22年度文化庁芸術拠点形成事業	
協賛	第一生命保険株式会社	


(5) 共催公演


TAN's Amici Concert (Amici とは、「親友たち」という意味) と題して行う共催公演は、合唱、邦楽、古楽器など、TAN主催公演では取り上げにくい公演を協力して実施している。日比谷にあった旧・第一生命ホール時代からの縁があり、毎年「八月のまつり」を開催している東京混声合唱団とは、コンダクター・イン・レジデンスである山田和樹のブザンソン国際指揮者コンクール優勝記念公演を行った。旧・第一生命ホールで第1回の定期演奏会を開催した日本音楽集団は、定期演奏会の開催が200回を超え、またコミュニティ活動でも「Meet the 和楽器」の企画等でご協力いただいている。「ショパンの愛したプレイエル・ピアノ」を開催した静岡文化芸術大学は、事前にインターンの学生がTANのコミュニティ活動やオープンハウスなどにも参加するなど、どの団体とも1回の公演だけではない協力関係を様々な形で実現させていただいており感謝したい。

公演名	〈TAN's Amici Concert〉 山田和樹ブザンソン国際指揮者コンクール優勝記念 東京混声合唱団特別演奏会	
公演日時	4月16日(金)19:00開演	
チケット料金	全席指定 S¥5,000 A¥4,000 B¥2,000	
入場者数	649名/キャパシティ714名(90.8%)	
出演者	山田和樹(指揮) 東京混声合唱団 前田勝則(ピアノ)	
演奏曲	ヴィラ=ロボス:ブラジル風バツハ第9番 東京混声合唱団愛唱歌より 木下牧子作曲・立原道造作詩:夢みたものは・・・ ウルベル作曲・ハフ編曲:ジッパ・ディ・ドゥー・ダー～ディズニー映画「南部の唄」より他 武満徹:一生誕80年ー 混声合唱のための「うた」より「小さな空(武満徹:作詩)」、「島へ(井沢満:作詩)」、「恋のかくれんぼ(谷川俊太郎:作詩)」、「小さな部屋で(川路明:作詩)」、「死んだ男の残したものは(谷川俊太郎:作詩)」 三善晃作曲・高田敏子作詩:混声合唱組曲「五つの童画(1968)」I.風見鳥 II.ほら貝の笛 III.やじろべえ IV.砂時計 V.どんぐりのコマ	
ねらい	毎年8月に「八月のまつり」を共催している東京混声合唱団。コンダクター・イン・レジデンスを務める山田和樹が第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝したのを祝して、若手指揮者の更なる飛躍を応援すべく「山田和樹ブザンソン国際指揮者コンクール優勝記念東京混声合唱団特別演奏会」を東京混声合唱団との共催で開催する。	
結果・振り返り	東混のコンタクト・イン・レジデンスを務める山田和樹が、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝したことを記念に行った特別公演。本格的な合唱曲から学校公演で歌われる親しみやすい楽曲まで幅広い年代が楽しめる内容となり、多くのお客様でにぎわった。	
主催	東京混声合唱団	
共催	NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク/ 第一生命ホール	
協賛	(株)日本旅行/(株)フォンテック/(株)アポロ社	

公演名	〈TAN's Amici Concert〉 日本音楽集団 第199回日本音楽集団定期演奏会 「日本音楽を呼び覚ました・三木稔作品」	
公演日時	5月19日(水)19:00開演	
チケット料金	全席自由 ¥4,000	
入場者数	407名／キャパシティ714名(57%)	
出演者	日本音楽集団	
演奏曲	三木稔:四群のための形象(1967)「文様(あや)／居機(いき)／曲(くせ)／搗(とう)」／ わ(1976)／ロータス・ポエム(1994年) 秋岸寛久:委嘱新作初演 三木稔:ダンス・コンセルタント第1番「四季」(1973年)	
ねらい	日本音楽集団には「Meet the 和楽器」や施設へのアウトリーチなどコミュニティ活動でも協力していただいている。年2回の公演のうち春に行われる1回は名曲コンサートとして、邦楽界では欠かすことのできない名曲の数々を演奏会形式でお届けする。	
結果・ 振り返り	創立団員の1人でもある三木稔氏の作品を中心としたプログラム。初期の名作として名高い「ダンス・コンセルタント・四季」では、総勢25名のアンサンブルで華やかな演奏を披露した。日本音楽集団の公演ではヤングシートを設け、邦楽器を習っている子供や学生など、比較的若いお客様も数多く来場している。	
主催	NPO 法人日本音楽集団、NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク／ 第一生命ホール	
助成	平成22年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業)	

公演名	〈TAN's Amici Concert〉 林光・東混 八月のまつり 31	
公演日時	8月9日(月)19:00開演	
チケット料金	全席自由 一般¥4,000 学生・シニア¥3,000	
入場者数	440名／キャパシティ714名(61.6%)	
出演者	林光(指揮) 東京混声合唱団 寺嶋陸也(ピアノ) 古賀満平(照明)	
演奏曲	林光:原爆小景(原民喜 詩) 水ヲ下サイ(1958)/ 日ノ暮レチカク(1971)/ 夜(1971)/ 永遠のみどり(2001) 林光:花鞆一閑吟集によるコンチェルト―新作初演―「人の姿は花鞆」、「優しさで、逢うたりや嘘の皮鞆」 林光(作曲)木島始(詩):混声合唱、ピアノ、一対の笛のための「鳥のうた(1982)」春うらら／ ゆきかう渡り鳥／空の文字消える名まえ／見守るつらさ／啄まれた いひと／すばらしい嘘／おとずれ待ち／たよれる星／たねは旅する	
ねらい	TANでは2003年から継続して共催している「八月のまつり」。毎年原爆記念日に近い夏の日を選び、作曲家 林光の「原爆小景」を、作曲家自身の指揮により歌い、平和を願う。	
結果・ 振り返り	毎年原爆記念日に近い夏の日に行われる作曲家・林光の「原爆小景」を歌う「八月のまつり」。毎年欠かさず聴きに來られるというリピーターも多い。閑吟集を題材にした新作の「花鞆」や、リコーダーが共演する「鳥のうた」など、今年も様々なスタイルの合唱作品が古賀満平の照明とともに披露された。アンコールは今年も「星めぐりのうた」。美しい歌声とともに星がステージで瞬く。歌い終わると同時におとずれる暗転。決して演奏の前には出ない、照明が彩る音楽の世界を堪能した。	
主催	(財)合唱音楽振興会、NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク／ 第一生命ホール	
助成	平成22年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業)	

公演名	〈TAN's Amici Concert〉 ショパンの愛したプレイエル・ピアノ ～弦楽器と奏でる美しい詩～	
公演日時	11月9日(火)開演 19:00 *小岩信治プレトーク 18:15～(20分間)	
チケット料金	一般¥4,000、学生¥2,000	
入場者数	320名ノキャパシティ767名(42%)	
出演者	小倉貴久子(フォルテピアノ) 桐山建志 藤村政芳(ヴァイオリン) 長岡聡季(ヴィオラ) 花崎薫(チェロ) 小室昌広(コントラバス)	
演奏曲	<p>ショパン: 《マズルカ》イ短調 作品 17-4 《バラード 第4番》ヘ短調 作品 52 《舟歌》嬰ヘ長調 作品 60 《華麗なるワルツ》変イ長調 作品 34-1 《レント・コン・グラン・エスプレッシオーネ》(ノクターン) 嬰ハ短調 遺作 チェロとピアノのための《序奏と華麗なポロネーズ》ハ長調 作品 3 《ピアノ協奏曲 第2番》ヘ短調 作品 21 (ドイツ初版に基づく室内楽版)</p> <p>使用楽器: 1. プレイエル作の歴史的ピアノ(パリ、1830年) 浜松市楽器博物館蔵</p>	
ねらい	浜松市楽器博物館所蔵のフォルテピアノを第一生命ホールへ運び、ショパンの生きていた時代のピアノの音色とピアノ協奏曲の室内楽版を聴いていただき、その時代の音楽への理解を深める。	
結果・振り返り	静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センターとの共催で行う、浜松市楽器博物館所蔵フォルテピアノでのコンサートは今回で4回目となる。ショパン生誕200年を迎えた2010年に相応しい楽器とプログラムで、開演前は静岡文化芸術大学准教授小岩信治氏によるプレトークも行われた。来場者からは、ショパンの生きていた時代のフォルテピアノで演奏を聴くことによって、より作品を理解することができたという声が多かった。	
主催	静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター	
共催	NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワークノ第一生命ホール	
協力	浜松市楽器博物館、(財)浜松市文化振興財団	

公演名	<TAN's Amici Concert> ～200 回記念シリーズ～《200 の創造・未来へ》 日本音楽集団 第 201 回日本音楽集団定期演奏会 「集団・∞の表現力へ～河地良智氏を迎えて」	
公演日時	11 月 17 日(水)19:00 開演	
チケット料金	全席自由 ¥4,000	
入場者数	245 名／キャパシティ 714 名(34.3%)	
出演者	日本音楽集団 河地良智(客演指揮)	
演奏曲	長澤勝俊: 子供のための組曲(1964 年) 池辺晋一郎: 雨のむこうがわで 4 人の打楽器奏者のために (打楽器: 仙堂新太郎・望月太喜之丞・盧慶順・島村聖香) 福嶋頼秀: 邦楽合奏のための組曲“夢もよい”～唯遊湯人の詩に寄せて…～ (委嘱初演)(語り: 宮越圭子) 四反田素幸: 火の曲(2004 年) 佐藤敏直: ディヴェルティメント(1969 年)	
ねらい	年 2 回行っている日本音楽集団との共催公演。秋に行う回は編成にとらわれない趣向を凝らした企画で、新たな邦楽の世界を表現している。今回は旧第一生命ホールでの第 1 回定期演奏会で演奏された作品や 2004 年創立 40 周年記念に行われた作曲コンクール第 1 位受賞曲、打楽器奏者による四重奏など、定期演奏会 200 回記念シリーズに相応しい意欲的な作品を披露する。	
結果・振り返り	旧第一生命ホールでの第 1 回定期演奏会で演奏された長澤勝俊作曲「子供のための組曲」や 2004 年日本音楽集団創立 40 周年記念に行われた作曲コンクールで一位を受賞した四反田素幸作曲「火の曲」、打楽器奏者による四重奏など、新旧を織り交ぜた意欲的なプログラム。邦楽器アンサンブルならではの魅力が詰まった一夜となった。	
主催	NPO 法人日本音楽集団、NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク／ 第一生命ホール	
助成	平成 22 年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業)	

(6) TAN モニターレポート

「TAN モニター」とは、第一生命ホールオープン当初から続けている TAN の活動評価システムのためのモニターです。公演をご覧いただき、客観的にレポートしていただきます。プロの評論家による批評ではなく、あくまでも様々な背景を持った方々の独自の視点によるレポートをお願いしています。

育児支援コンサート

～子どもを連れて、クラシックコンサート

2011年3月5日(土) 14:00 開演

【報告：A・O／東京都在住／団体職員】



3月5日に行われた「子どもを連れてクラシックコンサート」へ行きました。「夏休み キッズのためのコンサート」では、最初から親子が座席に揃い、オーケストラを楽しむ形式でしたが、今回は、第一部は親子それぞれのプログラムがあり、第二部からは一緒にコンサートを楽しむ、というものでした。第一部で大人たちがコンサートを楽しんでいる間、子どもたちは、音楽スタジオにて楽器の体験や、説明を音楽家の方々から受けていました。事前に当日の受付についての詳しい案内をいただき、名札に名前を書いていく等の準備をして行ったので、たくさんの親子連れがいらしていましたが、混雑もあまりなくスムーズに進んだと思います。

子どもスタジオでは、ヴァイオリンやチェロなどの弦楽器のレクチャーが行われました。月齢によって組が分かれており、子どもたちの理解力の程度にあわせて、内容を設定しているのだなあと思いました。娘はヴァイオリンが生まれたいきさつや、音の出る仕組みの説明を受ける組でした。スタジオへ迎えに行った時は、「よくわからなかった…」という感じでしたが、第二部のコンサートが始まり、ヴァイオリンについて説明していただいた演奏者の方がステージに上がると、「あっ！」となり、「こうやって弾くんだよ～」と弾く真似をしていました。

第一部の「大人のためのコンサート」は、小川典子さんのピアノリサイタルでした。子どもが小さい間は、まだ行くのは難しいかな...と思っていた、こうしたコンサートを体験できるのはありがたいですし、個人的にピアノの演奏がとても好きなので、嬉しい時間となりました。特にモーツァルトは、なんとなく知っているレベルだったので、実際にピアノ演奏を集中して聴いてみると、その繊細さや複雑さ、現代の楽曲に通ずる部分などたくさんを感じて、ドキドキしました。プログラムの楽曲説明は、分かりやすくポイントを押さえて書かれていて、小学生くらいのお子さんなら、その内容が分かるようになっていました。演奏を聴きながら、「この曲は…」とプログラムを確認することはよくありますが、子どもが読んでも分かるものにしてあることで、一層興味がわくのではないかと思います。

第二部「みんな一緒にコンサート」では、親子が揃って一緒にコンサートを聴きました。

ドヴォルザークのピアノ五重奏が始まると、娘は指揮棒を振る真似をしながら、リズムを取っていました。少し哀しげで、でも力強いメロディーに、最後の方は聴き入っていました。「夏休み キッズのためのコンサート」でもそうだったのですが、娘が知らない曲でもリズムを取ったり、じっと聴いているのを見ると、これがクラシック音楽の人を惹きつける力なのかなあと感じます。

五重奏曲の後は、今回のメインプログラム。絵本『こんとあき』の朗読を、音楽とともに聴くというものでした。手作りのこんのぬいぐるみもステージに登場です。スクリーンに絵本のページが映し出され、森田樹優さんの朗読がスタート。さすが声優さん、声もこんとあきちゃんにととても合っていて、グッとその世界に入り込めた気がします。音楽と朗読だけでなく、スクリーンに映画のように 絵本が投影されるので、物語の流れが分かりやすく、娘も飽きずに楽しんだようです。

「赤ちゃん、かわいいね。♪ゆ〜りかごのうた〜」

「きつねさん、しっぽがはさまれてかわいそう…」

「おばあちゃんに会えるかな？」などなど。

「ぬいぐるみなのに、お風呂に入るの？」とも言うていました。

赤ちゃんのころのあきちゃんとかんの、柔らかくて暖かな雰囲気、汽車に乗って旅に出る元気な感じ、おばあちゃんに会えるのか不安な感じ…。音楽が色々な場面にあることで、娘もこんとあきちゃんの感情の変化を感じ取っていたように思います。場面に合わせた音楽は、ドビュッシーの「水の反映」や、「見上げてごらん夜の星を」など、素敵な曲がたくさんあり、目の前の物語に時間や空間を与えるのだなあと思いました。

今回もあっという間にコンサート終了となりましたが、二部構成で親子がそれぞれ楽しめたことで、それぞれが何をしていたか？という会話もできますし、趣向の異なるステージを楽しめたと思います。

そして一番感動したのは、多くのボランティアの方たちが、今回のコンサートのお手伝いをされていることでした。子どもの相手となると、少ない人数では無理がありますし、ボランティアをおこなう方たちの理解も必要だと思います。クラシック音楽を多くの人に楽しんでもらうためにという意向があってできることだと思いますが、これだけたくさんの人たちが尽力されていること、クラシック音楽が支えられていることを知ることができたことが、コンサートの内容以外に、今回特によかったなと思いました。また機会があればぜひコンサートに伺いたいですし、ボランティアもやってみたくて思いました。

音楽のある週末 第5回 梯 剛之 ピアノ・リサイタル

11月20日(土) 14:00 開演

【報告者：中川和子／東京都在住／フリーエディター】

晴海トリトンスクエアには仕事で何度か足を運んだことがあったが、第一生命ホールに入るのはこの日が初めて。休日のせいか、スクエア内には人影はまばらで、少し不安になる。

ところがエスカレーターで会場ロビーに着くと、そこは音楽好きの熱気が溢れ、室温が少し高く感じられた。窓からはゆっくり流れる川と秋の陽差しが望める。土曜の午後の非日常空間に、コンサートへの期待が一気に高まる。

ホールの入口付近には『お客様にお願い』の看板があった。それは「盲導犬を連れていらっしゃるお客様がいらっしゃいます」という知らせとともに、盲導犬に対する注意事項を列記したものだ。実は会場に入る前、化粧室でゴールデンレトリバーを連れてきた方たちとすれ違った。看板はこの方たちに配慮したものだのだろう。スタッフの行き届いた心遣いに感心すると同時に、どこのホールにも、目の不自由な方が積極的にコンサートを楽しめるような環境作りをお願いしたい。

ホールの中は白木を基調にしている、大き過ぎず、とても落ち着いた雰囲気だ。私の席は2つ目のブロックの最前列でほぼ中央付近にあった。少し早めに席に着き、プログラムで曲目などを確認する。土曜の午後のせいか、はたまた11月22日の『いい夫婦の日』が近いのか、想像以上に男性客の姿も多い。年齢もバラバラという印象を受けた。ただ、オール・ショパン・プログラムで土曜の午後ということ考えると、ピアノのレッスンに通っているお子さんや、若い人たちがもっとたくさんいてもいいような気がした。

梯さんの“力強いショパン”に圧倒される

本日の主役、梯剛之さんのピアノを聴くのは初めてだ。恥ずかしながら、目が不自由でいらっしゃるくらいしか予備知識はない。今年はショパンの生誕200周年にあたり、世界各地でショパン関連のコンサートが開催されているようだが、私自身はその波に乗り遅れている。しかし、子どもの頃、ピアノのレッスンに通っていたこともあり、ショパンの曲にはなじみがある。『子犬のワルツ』をよく練習したっけ……。そんな感傷に浸りつつ、開演を待った。

お母様に手を引かれた梯さんは、グレーのスーツに白い蝶ネクタイ姿で登場。想像以上に小柄でスリムだ。そして、スタインウェイの鍵盤の上で白い指が動き始める。

「ショパンの曲って、こんなに力強かったっけ？」最初の『舟歌 嬰へ長調 作品60』でこんな感想を持つ。続く『幻想即興曲 嬰ハ短調 作品66』はショパンのピアノ曲の中でも名曲中の名曲。右手と左手の流れるようなリズムの中でも、その力強さは変わらない。

「あんなに華奢な体の、どこにあんなパワーがあるのだろう」と驚嘆。

『スケルツォ第2番 変ロ短調 作品31』『ワルツ第3番 イ短調 作品34-2』、そして『アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 作品22』と演奏は続く。

主旋律はあくまで力強くダイナミックに、そこに、ショパンらしい繊細な音の動きが混じり、とても心地良い。あまりの気持ち良さに船を漕いでいる観客も見受けられた。

5曲が終わったところで15分の休憩に。ロビーに出ると、グラスワインを片手に歓談する観客の姿が見られた。土曜の午後にこんな時間が過ごせるなんて、なんて幸せなことなんだろう！ もちろん、夜のコンサートもいいが、今日のような昼下がりのコンサートも心身を芯から和ませてくれる。

5度のアンコール、そして夢の空間の終わり

第2部は『ピアノ・ソナタ第3番 ロ短調 作品58』の演奏だ。ショパン最後のソナタは、彼の波乱の人生が凝縮されているような曲である。プログラムのメッセージの最後に、梯さんは「もし可能なら……やっぱり僕は「ショパンの再来」になりたいな……。」という一文を添えられていた。病気を克服され、ピアノとともに生きてこられた梯さんは、ショパンの人生にご自身を重ねているのかもしれない。激しく、そして切ない演奏を聴いていると、何とも表現のしようのない感情が湧いてくる。

演奏が終わると、梯さんは観客に向かって何度も深々と礼をされた。拍手が鳴りやまず、アンコールが始まった。1曲、そして2曲……。日本人はシャイなのか「ブラボー」と叫ぶ人は少なかったが、それでもいっこうに拍手は鳴りやまない。あまりにも心地良く、素晴らしい演奏の場から、現実に戻されるのが怖くて、私たちは何度も何度もアンコールを要求してしまったのだ！ また、その気持ちを察してか、体力の消耗を心配されるお母様を尻目に、梯さんの演奏は続いた。4曲目は『12の練習曲 op.25 第11番「木枯らし」イ短調』。そして、5曲目のそれまで以上に優しく響く温かな演奏を聴き、私たちは席を立った。たぶん、観客全員が「これ以上は申し訳ない」という気持ちだったに違いない。終演は4時22分頃。予定を30分もオーバーしていた。

ロビーでは梯さんのCDを買い求めようという人たちが売場に殺到。即席のサイン会も催された。サインを求める人、一人ひとりに「ありがとうございました」と声をかけられる梯さん。その様子を見てから、私は会場を後にした。外はすっかり夕闇に包まれていたが、素敵なりサイタルに出会えたことに感謝しつつ、足取りはとても軽くなった。

630コンサート～充電の1時間～

塩谷 哲・松本和将（ピアノ・デュオ）

9月15日（水）18:30 開演

【報告者：K.T／千葉県在住／団体職員】



小田 東

ただただ、音楽を楽しませていただきました、の一言です。それ以上でも以下でもありません。さはさりながらいくつか、思いつきで恐縮ですが感想を記しておきます。

1時間のコンサートというのは、初めてでしたがとても満足しています。後1時間あれば、別の世界を見せてくれたのだろうな、という物足りなさの一方で、ここでお二人とお別れしたくない、もっと聴かせてという欲求が心地よかったです。最高潮のところで終わ

った感じですが、大丈夫です、悔いは残りません。余韻を残し、だからいつまでも忘れないです。

目に付いたのは、30代～40代の男のサラリーマン風でした（数は多くはないようですが）。これから一杯飲んで別のリフレッシュ、そんな感じで軽やかにホールを後にしているように見えました。好きでなければ、2時間はしんどいけれど、1時間だったら、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。音楽（の魅力）に接する良い企画、機会だとも思いました。

構成も良かったです。親しみのある曲から始まりましたが、違和感なくジャズとクラシックとを行き来でき、最終的にはふたつが融合し、最後には音楽の楽しさ、豊かさが心を満たしてくれていました。

塩谷さんの曲も演奏も初めてでしたが、「ヴァルス」という曲には魅かれました。ラテンとおっしゃったのでしょうか。陽気な旅をさせてもらった感じです。それと松本さんの動きが良かった（おもしろかった）。一緒に音楽を楽しんでください、と言われているようで、こちらも弾みます。ピアノ・デュオというのは迫力があるものなんですね。塩谷さんと松本さんの触発の仕様が客席まで届き、規律あるライブハウスの感じで楽しめました。塩谷さんの演出でしょうか、いや人柄ですよ。

とにかく、音楽を楽しめる企画内容、コンサートでした。良質なホスピタリティに包まれた1時間でした。これからも良い演奏、良い企画を楽しみにしています。次は歌を聴きたいです。

SQW シリーズ

〈クァルテット・ウィークエンド 2010-2011 “Festa”〉

ミロ・クァルテット 第2日《アメリカへの旅》

5月30日（日）14:00 開演

【報告者：井出春夫／埼玉県在住／会社員】



◎小田 東

ミロ・クァルテットは前回（約5年位前だっただろうか）第一生命ホールで初めて聞いてとても感動し、またこのホールで聞きたいと思っていたクァルテットである。そして、今回そのチャンスが来た。このクァルテットは、とても音が美しくホールによく響き、ホールとの相性もいいように思う。特に弱音（ピアノやピアノッシモ）が弱い音ではあるが、ゆたかな音で聞こえる。

フェスタ2日目は、弦楽四重奏では超有名曲、ドヴォルザークの「アメリカ」ミロカルテットと大親友の作曲家ケヴィン・ブッツ「クレド」、ジョージ・クラム「ブラック・エンジェルズ」の現代曲である。現代曲の2曲は初めて聞く曲だが、第一生命ホールならではのプログラミングではないだろうか。まず、プログラミングに拍手！

第1曲目のドヴォルザーク。とても新鮮でみずみずしい。音楽の感じがどんどん変わっていくのがとても面白く、音に弾力があり、4人の音が自然に混ざりあっていくこのライブ

感はたまらない。

第2曲目と3曲目は、曲が演奏する前に解説があった。現代音楽は、どこを聞いたらいいかわかりにくいから、その曲が出来た経緯や、演奏者と作曲家の関係などがわかると曲を聞く上での道標になるので助かる。

2曲目、ケヴィン・プッツ「クレド」は、ミロ・クアルテットの依嘱作。アメリカの明るい面を追求したいという要望があったようだが、2007年は、イラク戦争など悲しいことが多かった。この曲は2007年のアメリカの状況を自分の内面を見つめながら作曲したという。曲想は暗めであるが曲を聞いていると何だか優しさや暖かさ感じられ何だかとても癒される感じがする。休憩時間にロビーにでてみたら、今のは現代曲だったのと話されていた方がいらした。

3曲目はジョージ・クラム「ブラック・エンジェルス」。曲が始まる前に、銅鑼やグラスなど弦楽4重奏曲には登場しない楽器（というより「モノ」）が並んでいる。打楽器奏者もいるかしらと思ったら、出てきたのは4人。あらかじめ今までの弦楽四重奏とは全く違うという解説はあったものの、どうするのかしら、オーケストラだって、弦楽器奏者は指を鳴らしたり、かけ声をかけたりするくらいしか見たことがない。始まったら、やはりびっくり。チェロは普通左手で押さえるところを弓で弾いたり、銅鑼やグラスを弓で弾く。声が聞こえる。数字を数える等々。だいたい演奏中に楽器の場所まで歩行が入る四重奏曲を知らない。曲は暗くなまめかしい。でも、音を聞いていると何だか画像が浮かんでくるような気がした（怪奇映画やドラマ、お化け屋敷など、この曲とは関係のないものであったが）。最後に音が小さく消えた瞬間、仄かな光が射し込んだような気がしたが何ともやりきれない気持ちが残る。

アンコールとしてバーバーの四重奏曲から2楽章。これまたこの曲で癒された。ナイス、アンコールプロ。

「ブラック・エンジェルス」はCDでは聞いたことはあったけれど、どんな風に演奏しているのかがわかってとっても面白かった。アンコールで救われた感じがしたなど、話している方がいたのと、いつになく、よかったというような感想を多くの方が持ったように感じ、ホールを後にした。

現代曲は、演奏家やホール、そしてそれをささえるスタッフ、そして満員にはならないが聞いて下さるお客さんなど演奏を成功させるための要因が揃わなければ出来ないであろう。このホールにはそれがあるのではないかとすればここは、あまり演奏されない作品や現代作品を継続的に取り上げて行く必要があるのではないだろうか。

3. コミュニティ事業

●2010年度コミュニティ事業一覧

No.	区分	実施日	実施時間	事業名	実施協力先	出演者	実施場所	受益者	受益者数	ボランティア数
1	O	4/3(土)	13:00～14:00	第9回桜・桜が咲いた 出前音楽会in晴海	築島散歩の会	松岡みやび(ハーブ)	アートはるみ ギャラリー	マイホームはるみ、 晴海苑入所者、身 障者、介護者など	130	10
2	L	4/16(金)	12:20～13:00	トリトンスクエア グランドロビーコンサート	晴海コーポレーション	菅家奈津子(メゾソプラ ノ)、クッチーナ(ソプラノ4 人)、御園生瞳(ピアノ)	グランドロビー	トリトンスクエア勤 務者及び近隣住民	130	11
3	O	5/31(月)	11:30～12:15	ミロ・カルテット アウトリーチ	明石小学校	ミロ・カルテット	音楽室	4年生1クラス	33	2
4	O	5/31(月)	16:15～17:00 18:00～18:45	ミロ・カルテット アウトリーチ	ヴィ街なか	ミロ・カルテット	ヴィ街なか スタジオ	障害のある就労者 とその親、及びヴィ 街なか周辺近隣住 民	80	1
5	O	6/3(木)	14:00～14:45	ミロ・カルテット アウトリーチ	レインボーハウス明石	ミロ・カルテット	食堂	施設利用者	25	4
6	O	①6/30(水) ②7/7(水) ③7/14(水)	①210:45～12:15 ③10:45～11:30	Meet the 和楽器	月島第一小学校	日本音楽集団	①②体育館 ③音楽室	4年生2クラス	53	4
7	O	6/30(水)	14:00～14:45	晴海苑アウトリーチ	晴海苑	米澤浩(尺八)、 熊沢栄利子(箏)	晴海苑1階	晴海苑入所者、通 所者	50	4
8	L	7/7(水)	12:20～13:00	トリトンスクエア グランドロビーコンサート	晴海コーポレーション	クローバー・サクソフォン・ カルテット	グランドロビー	トリトンスクエア勤 務者及び近隣住民	130	11
9	OH	7/17(土)	12:00～17:00	第一生命ホール オープンハウス2010		管弦楽団ARCUS(アルク ス)メンバー、トリトン・ヴィ ルトウオーゾアンサンブル	第一生命ホール、 トリトンスクエアX 棟5階会議室、グラ ンドロビー	未就学児から小学 校低学年年齢のお 子さんを持つ家族 を中心に一般の方	619	97
10	H	9/4(土)	10:30～11:00 11:30～12:15	よちよち・すくすく クラシックコンサート	中央区女性センター ブーケ21	カントウス・カルテット	中央区女性セン ターブーケ21 1階	0才～2才の幼児と 保護者、3才～の未 就学児と保護者	108	4
11	O	9/13(月)	9:25～10:10 10:30～11:15	4年生はじめての クラシック	豊洲北小学校	バズ・ファイブ	音楽室	4年生4クラス(2クラ スずつ)	144	1
12	O	9/14(火)	11:25～12:10 13:30～14:15	4年生はじめての クラシック	日本橋小学校	小倉貴久子(フォルテピアノ)	ランチルーム	4年生2クラス	58	2
13	O	①10/30(土) ②11/2(火) ③11/5(金)	①9:35/10:40 ②③10:40/11:30	5年生はじめての クラシック	有馬小学校	揚原祥子(ピアノ)、 谷篤(バリトン)	音楽室	5年生2クラス	66	3
14	H	10/31(日)	12:00～12:30 14:00～14:30	中央区まるごとミュージア ム参加企画 「星空のコンサート」	タイムドーム明石	藤代優意(ヴァイオリン)、 手塚春菜(チェロ)	タイムドーム明石 (プラネタリウム)	一般	119	1
15	W	11/6(土)	10:30～11:30 13:30～14:30	かんたん？むずかしい？ 弾いてみた～い！弦楽器	佃児童館	竹内弦、立上舞(ヴァイオリ ン)、高橋奨(ヴァイオリン)、 大森健一(チェロ)	ゆうぎ室	小学生	30	2
16	L	11/11(木)	12:15～12:50	第一生命日比谷DNタワー ロビーコンサート	第一生命CSR推進室	鳥木弥生(メゾソプラノ)、 清水綾(ピアノ)	DNタワー 1階ロビー	第一生命社員及び 近隣勤務者	80	3
17	O	11/11(木)	10:00～10:20 10:30～11:00	豊洲保育園アウトリーチ	豊洲保育園	立上舞(ヴァイオリン)、 小森谷裕子(ピアノ)	ゆうぎ室	2歳～5歳	96	2

No.	区分	実施日	実施時間	事業名	実施協力先	出演者	実施場所	受益者	受益者数	ボランティア数
18	W	11/16(火)	15:30～16:30	かんたん？むずかしい？ 弾いてみた～い！弦楽器	月島児童館	菱田真理、皆川櫻子、 関口梨紗(ヴァイオリン)、 伊藤七生(チェロ)	音楽ゆうぎ室	小学生	30	1
19	W	12/11(土)	10:45～11:45	かんたん？むずかしい？ 弾いてみた～い！弦楽器	勝どき児童館	能登谷安紀子、向山有輝 (ヴァイオリン)、飯田香 (ヴィオラ)、久良木夏海 (チェロ)	ゆうぎ室	小学生	30	3
20	H	12/12(日)	14:00～15:00	芝浦工業大学豊洲校 大学開放DAY 「クリスマスコンサート」	芝浦工業大学	秋山君彦(フルート)、 中川鉄也(クラリネット)、 吉本康(ファゴット)、 間宮淳(ホルン)	カフェテリア	大学開放DAY来場者	90	9
21	O	①12/16(木) ②12/17(金) ③12/21(火)	①10:35/11:25/ 13:25 ②10:35/11:25/ 13:25 ③10:35	Meet the 和楽器	豊洲小学校	日本音楽集団	①②ランチルーム ③体育館	4年生3クラス	90	1
22	L	12/22(水)	12:15～14:30	室内楽ロビーコンサート		アドヴェントセミナー講師 と受講生	第一生命ホール ロビー	一般	127	4
23	W	1/12(水)	15:30～16:30	かんたん？むずかしい？ 弾いてみた～い！弦楽器	築地児童館	早川さくら、堀江真理子 (ヴァイオリン) 高橋奨(ヴィオラ)、 大森健一(チェロ)	ゆうぎ室	小学生	40	0
24	L	1/14(金)	12:20～13:00	トリトンスクエア グランドロビーコンサート	晴海コーポレーション	日本音楽集団	グランドロビー	トリトンスクエア勤 務者及び近隣住民	100	11
25	LC	1/15(土)	15:00～16:45	古典四重奏団 レクチャーコンサート		古典四重奏団	トリトンスクエア X棟会議室2	カルテット愛好 者・クラシック愛好 者等	66	3
26	O	1/24(月)	13:45～14:45	4年生はじめての クラシック	佃島小学校	カルテット・エクセルシオ	プレイルーム	4年生3クラス	82	1
27	O	①1/28(金) ②2/4(金) ③2/7(月)	①10:35/11:25 ②8:40/9:30/ 10:35/11:25 ③10:35/11:25	3, 4年生はじめての クラシック	豊海小学校	揚原祥子(ピアノ)、 谷篤(バリトン)	音楽室	3年生2クラス 4年生2クラス	124	4
28	O	2/9(水)	10:40～12:15	4年生はじめての クラシック	月島第二小学校	田村緑(ピアノ)、 市橋邦彦(朗読)	音楽室	4年生2クラス	49	2
29	O	2/10(木)	10:00～10:20 10:30～11:10	日本橋幼稚園 アウトリーチ	日本橋幼稚園	渡辺彩(ヴァイオリン)、 中村順子(ピアノ)	ゆうぎ室	3歳～5歳	104	0
30	O	2/18(金)	10:00～10:30 10:40～11:00 11:10～11:40	晴海幼稚園 アウトリーチ	晴海幼稚園	小澤剛(コントラバス)、 原佳奈子(ピアノ)	ゆうぎ室	3歳～5歳	111	1
31	O	2/21(月)	10:45～11:30	4年生はじめての クラシック	月島第三小学校	バズ・ファイブ	ランチルーム	4年生3クラス	81	1
32	O	2/22(火)	11:00～12:00	4年生はじめての クラシック	久松小学校	浜まゆみ(マリンバ)、 羽田めぐみ(ピアノ)	音楽室	4年生2クラス	68	0
33	O	2/23(水)	11:35～12:20	4年生はじめての クラシック	京橋築地小学校	バズ・ファイブ	音楽室	4年生2クラス	67	0
34	L	3/2(水)	12:20～13:00	トリトンスクエア グランドロビーコンサート	晴海コーポレーション	大森智子(ソプラノ)、 田村緑(ピアノ)	グランドロビー	トリトンスクエア勤 務者及び近隣住民	150	15

区分 O：アウトリーチ L：ロビーコンサート OH：オープンハウス H：ハローコンサート W：ワークショップ
LC：レクチャーコンサート

●協力企画・マッチングギフト（MGP）

No.	区分	実施日	実施時間	事業名	実施協力先	出演者	実施場所	受益者	受益者数	ボランティア数
35	協力	6/22(火)	15:00～16:00	電気倶楽部サロンコンサート	電気倶楽部	クアルテット・エクセルシオ	電気倶楽部内	電気倶楽部会員	23	募集なし
36	協力	10/22(金)	①10:20～10:55 ②11:05～11:45	文化教養学園アウトリーチ	文化教養学園	カントウス・クアルテット	すみれ組	①0歳～3歳 ②4歳、5歳	114	募集なし
37	協力	①10/24(日) 東京 ②10/31(日) 神戸	1日3回公演	第一生命&アフラック 提携10周年企画 「親子ふれあいコンサート」	アフラック 第一生命保険株式会社	大森智子(ソプラノ)、田村緑(ピアノ)	丸ビル内マルキューブ デュオこうべ	一般	1228	募集なし
38	協力	3/4(金)	11:40～12:20	中央区社会福祉協議会 「介護家族のための音楽会と食事会」	中央区社会福祉協議会	クアルテット・エクセルシオ	ロイヤルパークホテル2階	中央区内在宅介護者50名+社教職員10名	60	募集なし
39	MGP	11/30(火)	①11:30～12:15 ②13:55～14:40	音楽の贈り物	第一生命 大井事業所	バズ・ファイブ	大井小学校 音楽室	4年生4クラス(2クラスずつ)	141	募集なし
40	MGP	11/25(木)	14:00～15:00	音楽の贈り物	第一生命 保険金部	日本音楽集団 (杵家七三、他)	神奈川県内特別 養護老人ホーム	入所者、デイサービス利用者	95	募集なし
合計									5021	218

2010年度のコミュニティ事業は目的別に次の7つの活動に分け、40ヶ所にて49回実施をした。

(1) アウトリーチ活動（実施箇所）

① 小学校アウトリーチ

ア) 小学4年生はじめてのクラシック (7)

イ) 小学校アウトリーチパイロット授業 (2)

ウ) Meet the 和楽器 (2)

エ) ミロ・クアルテットによるアウトリーチ (3 内小学校1)

② 保育園・幼稚園アウトリーチ (3)

③ 高齢者福祉施設アウトリーチ (1)

④ 地域との協力アウトリーチ (2)

⑤ 第一生命保険 マッチングギフトを利用したアウトリーチ (2)

(2) 弦楽器体験ワークショップ (4)

(3) 第一生命ホール オープンハウス (1)

(4) ハロー！コンサート (2)

(5) ロビーコンサート

① 晴海トリトンスクエア グランドロビーコンサート (4)

② 第一生命保険日比谷本社でのロビーコンサート (1)

③ アドヴェントセミナー受講生と講師による室内楽ロビーコンサート (1)


(6) レクチャーコンサート (1)


(7) 協力企画 (4)


(1) アウトリーチ活動


第一生命ホールを拠点に中央区およびその近隣の教育機関や病院、福祉施設など普段生の芸術文化に触れる機会が少ない皆さまに、音楽を聴く楽しさや喜びを感じてもらうことを目的とした活動。今年度は特に小学校アウトリーチの内容の充実を図った。年1回の鑑賞型「小学4年生はじめてのクラシック」をメインに、各小学校の特色に合わせワークショップ付きで複数回連続して実施するプログラムとして「小学校アウトリーチパイロット授業」を2校、「Meet the 和楽器」を2校で実施をした。また、豊洲地区では新規に小学校2校、保育園1園で実施をした。地域との協力アウトリーチでは、築島散歩の会との協力企画「桜・桜・桜が咲いた出前音楽会 in 晴海」は9回目を迎え、また、サポーターの発案により中央区で増加している0歳～6歳の親子を対象とした「よちよち・すくすくクラシックコンサート」を新規で実施をした。

①小学校アウトリーチ

事業名	ア)小学4年生はじめてのクラシック	
目的	小学4年生(10歳)という感受性豊かな時期に、生演奏の迫力や演奏者の人柄に触れることにより、音楽の楽しさや魅力を味わう心を育む。	
実施施設	東京都中央区及び江東区豊洲地区の小学校(7校)	
対象	4年生	
参加者数	549名	
出演者	第一生命ホールの主催・共催公演に出演するアーティストや団体 「2010年度コミュニティ事業一覧表」参照	
内容	クラシック音楽の「鑑賞」をメインとしたプログラム。 出演者は各校の音楽教諭と話し合い、学校の特性にあった内容で実施をしている。 中央区立小学校では6年生になるとコンサートホールへオーケストラの演奏を聴きに行くため、その前段階での生演奏に身近に触れる機会と位置付けている学校も多い。	
参加者の感想 (聴いた楽器)	<ul style="list-style-type: none"> ・トロンボーンが3Dに見えておもしろかったけど、目をとじて聞いてみたらすごくきれいでかん動した。目をとじなくてもすごかった。(金管五重奏) ・すごいゆれながらフォルテピアノをひいていて気持ちがこもっていました。いつか聞きたいがあったらまた演奏を聞きたいです。(フォルテピアノ) ・ぼくもチェロをやってみたくなりました。どれも良かったけどチェロが1番はく力があってかっこ良かったです。また聞きたいと思いました。(弦楽四重奏) ・ピアノの音がきれいでした。きもちよくひいているのがすごく伝わりました。スーホの白い馬はろうどくの人が気持ちをこめて読んでいるようすがすごく伝わりました。えんぎがすごくよかったです。ありがとうございました。(ピアノと朗読) ・音をきいていると体がピンピンしました。すごくおもしろかったです。(金管五重奏) ・すごいはくりよくで心にそのまま入ってきてすごいなと思った。ぼくも今なにかできる楽器でがんばってやろうと思った。(マリンバとピアノ) ・聞いている自分もおどり出しそうだったです。ゆかいでおもしろかったです。またきてほかの学年にも演奏してください。また聞きたいと思いました。楽器がどのようなしくみがあるのかももっと知りたいです。(金管五重奏) 	
助成・後援等	助成・後援:中央区文化・国際交流振興協会助成(中央区立小学校のみ)	

事業名	イ)小学校アウトリーチパイロットプログラム	
目的	2001年より実施をしている「4年生はじめてのクラシック」を、年に1回の鑑賞型から一歩進めて、体験を交えた3日間のプログラムを行い、子供が創造的に参加し、学習意欲を高める。	
実施施設	東京都中央区立有馬小学校 東京都中央区立豊海小学校	
対象	有馬小5年生 豊海小3年生・4年生	
参加者数	190名	
出演者	揚原祥子(ピアノ) 谷篤(バリトン)	
内容	<p>鑑賞と体験(歌唱)に音楽ワークショップを合わせた3日間のプログラム。</p> <p>1日目:<5年生>外国語歌曲を原語と日本語訳とで歌いその歌の世界を自由に想像する。</p> <p><3・4年生>歌いながら教室を歩き、声の聞こえ方の違いを感じる。CDと生演奏の違いを感じる。ピアノ曲と歌曲の鑑賞。</p> <p>2日目:<共通>子どもの音楽的能力を引き出すためのアクティビティ(リズムや拍を用いたゲーム)と3日目に演奏者と一緒に歌う歌の練習。</p> <p>3日目:<共通>演奏者と「線路の仕事」の歌と一緒に歌う。</p> <p><5年生>線路の仕事以外にロマン派の歌曲と一緒に歌い、曲が持つイメージを感じる。</p> <p><3・4年生>ピアノ曲と外国語歌曲を聴き、どのようなイメージが湧いたか用紙に書く。</p>	
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、1人の声からあんなに大きな声、高い声、低い声が出るんだと思った。最初に朗読したのではよくふんいきなどはわからなかったけどピアノを引いて歌うと自分が思っていたのとまったくちがう感じでした。(5年生) ・ぼくは、どの曲も最初にきいてる時は、あまりよくわからなかったけど、日本語に変えたのを聞いてから、もの一度聞くと、「今はあのあたりを歌っているのな」と思ったり、最初に聞いたより風景を思いうかべたり、どういう曲なのかをもっとくわしくイメージできました。心を水平のようになると、いつもよりきれいに音楽を聞きました。次からもこのようにして音楽を聞きたいです。(5年生) ・なぜ最後のピアノの曲と歌の曲は意味をないしょにしたんですか？でも、意味も題名もおしえないで自分で想像するのがておもしろいと思った。(4年生) ・ぼくもあんな声だったらいっぱい歌を歌いたいです。(3年生) 	
助成・後援等	助成・後援:中央区文化・国際交流振興協会助成	

事業名	ウ)Meet the 和楽器	
目的	日本独自の楽器や楽譜を体験しながら学び、伝統音楽である邦楽に親しみを持ってもらう。また、音作りでは発想力を、合奏では音を聞き合う力を養う。	
実施施設	東京都中央区立月島第一小学校 東京都江東区立豊洲小学校	
対象	4年生	
参加者数	143名	
出演者	特定非営利活動法人日本音楽集団	
内容	<p>“箏の体験(1児童につき1面)”と“邦楽アンサンブルの鑑賞”を組み合わせた3日間のプログラム。</p> <p>1日目: 箏を使って動作を表現したイラストに自由に擬態音を付ける「音作り」をしクラス内で発表。演奏方法などは自由とし、まずは楽器で遊び箏を身近に感じてもらう。</p> <p>2日目: 爪の付け方・楽器の構造・演奏方法を教え、「かえるのうた」の練習。輪奏することによって、お互いの音を聞き合う力を身に付ける。</p> <p>3日目: 希望によって、他学年への「かえるのうた」の発表会を実施し、その後日本音楽集団による箏、笛、三味線、尺八、琵琶、太鼓の邦楽アンサンブルを鑑賞。</p>	
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは尺八の名前が面白いと思いました。で、和楽器図鑑を見たら長さが1尺8寸だと見てびっくりしました。長さを名前にするなんてすごいと思いました。また聞きたいです。 ・和楽器にはぜんぜんきょうみがなかったのに今日の音楽会で心がやすらいだり、また自分にやさしさをくれるそんなものなんだと思った。もっと日本の音楽も聞いてみようかな。 	
備考	箏は日本音楽集団による貸与。爪はトリトン・アーツ・ネットワークによる貸与。	
助成・後援等	助成: 日本財団	

事業名	エ)ミロ・クアルテットによるアウトリーチ	
目的	SQW Festa で招聘した弦楽四重奏団にコミュニティ活動に参加してもらい、地域とのつながりを深める。弦楽四重奏の魅力を広める。	
実施施設	東京都中央区立明石小学校 レインボーハウス明石(中央区立知的障害者生活支援施設) ヴイ街なか(北区障害者就労支援施設)	
対象	4年生、成人の知的障害者	
参加者数	138名	
出演者	ミロ・クアルテット(弦楽四重奏)	
内容	ミロ・クアルテットは母国アメリカのオースティンを中心に積極的にアウトリーチ活動を行っており、小学校では演奏にゲームを取り入れ、子ども達は楽しみながら演奏を聴いていた。他2か所では、日本の童謡もプログラムに加え、聴衆を喜ばせていた。非常に小規模なスペースでの演奏会で、音楽の迫力と繊細な音楽と両方を楽しんでもらった。	
参加者の感想 (小学校のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなすごくうまくてメロディーも協力してやっていますすごいと思いました。また聞きたいです。 ・とつてもすごい音でびっくりしました。きれいな音でした。弦楽四重奏だけでも、いろんな、曲がひけるので、すごいと思いました。校歌を弾いてくれて、ありがとうございました。 ・チェロや第1バイオリン、第2バイオリン、バイオリンがものすごく名前があっっておもしろかった。そして、今まで以上に音楽が好きになりました。本当に楽しかったです。ありがとうございました。 	

<小学校アウトリーチ実施後のアンケート>

児童用アンケート集計結果（12校中9校）

回答人数: 694名		(人)	設問ごとの割合	回答人数に対する割合
1. 目の前で演奏をきいてどうでしたか？ (複数回答)	1. 楽しかった	538	28%	78%
	2. 音が大きくて心に響いた	350	18%	50%
	3. 演奏がすこかった	553	29%	80%
	4. 少しあきてしまった	27	1%	4%
	5. 楽器が面白かった	263	14%	38%
	6. 話が面白かった	193	10%	28%
	合計	1924		
2. プログラム(きいた曲)はどうでしたか？ (複数回答)	1. 楽しかった	413	23%	60%
	2. またききたい	538	31%	78%
	3. むずかしかった	59	3%	9%
	4. 自分もいつか演奏してみたいと思った	284	16%	41%
	5. きいたことのない曲もいい曲だなと思った	379	22%	55%
	6. もっと知っている曲がききたかった	85	5%	12%
	合計	1758		
3. 音楽会が終わったあと、どう思いましたか？ (複数回答)	1. 自分も何か楽器を演奏してみたいと思った	370	28%	53%
	2. 今、学校でやっている合唱や合奏をがんばりたいと思った	243	19%	35%
	3. 音楽会に行ってみてみたいと思った	266	20%	38%
	4. とくに何も思わなかった	44	3%	6%
	5. 今まで以上に音楽が好きになった	383	29%	55%
	合計	1306		
4. 第一生命ホールへ行ったことがありますか？	ある	130	19%	
	ない	560	81%	
	未回答	4	1%	
	合計	694		

音楽教諭へのアンケート 集計結果（12校中7校）

<p>1. アウトリーチの内容はいかがでしたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても充実した内容で児童も大変喜んでいて。聞いたことのある曲が多く、親しみやすかったことも大変魅力的だった。 ・演奏を生で聴くという体験はよかったが、選曲が対象年齢に対してどうだったか再考が必要に思う。「曲想を感じ取ろう」はどのような曲想を感じ取らせたかったのか、もう少し明確にしたほうがよかった。 ・バラエティに富んだ内容で良かった。チェロの振動を感じさせてもらった場面もよかった。教室に戻ったときに「あ～楽しかった！」と言った子やヴァイオリンのツイゴイネルワイゼンがとても気に入ってずっと話をしていた子がいた。 ・毎回、プログラムが充実していて大変有難い。体験的な場面も取り入れられ、子どもは集中して見ることができた。朗読とのかけ合いも素晴らしく、子どもの感想からも気持ちを込めて表現することの（伝えることの）すごさを実感したことが伝わった。 ・身近な金管楽器の合奏が聴けたことと、子どもたちが知っている曲も多かったこともあったのでとても良い内容だった。 ・Meet the 和楽器 <p><1 回目>お手本を見てからの曲づくりがよかった。自然に箏にふれながら絵をもとにグループで曲づくり、とても楽しんで取り組めたようす。発表の時もいろいろな表現があり、それに対して講師の先生方のひとことが子供達にとってはげみになったように思う。</p> <p><2 回目>かえるのがっしょうの演奏、どうやったらいい音が出せるか。基本を教わっての演奏よかったです。輪唱になったのも楽しかったです。</p>

<3 回目>子供達の知っている曲を折り混ぜての演奏会楽しめました。曲の解説、よかったです。びわの語りもとてもよかったです。もしかして、今の子どもにもわかる言葉で語っているのを聞けたらますます臨場感が伝わるのではないかと夢のようなことを考えました。

- ・ 曲目、コンサートの流れ、演奏などすべて子供たちにも分かりやすく 1 時間があつという間で楽しめた。楽器を触らせていただけたこともとても良かった。

2. 日程調整、打ち合わせなどの準備段階はスムーズでしたか？

- ・ 早めに連絡をいただくことができたのでよかったです。時間変更の連絡が夏休み中で学校での調整がすぐにできなかった。
- ・ だいたいスムーズだった。ただ、打合せ時と当日の内容が違うところもあった。
- ・ 昨年も来ていただいた方々なのでスムーズだった。
- ・ 年度当初に日程確認ができるとよいです。
- ・ スムーズにできた。(2校)
- ・ 1年前のことを忘れていたので一応手順や必要なもの等 FAX だけでなく打ち合わせがあった方がよかったです。


3. 当日の流れの中で、問題点や改善すべき点などありましたらお書きください。

- ・ 特になし。(5校)
- ・ クイズの番号札などは担任が配布した方が流れもスムーズかと思った。
- ・ ほとんどうまくいっていたと思います。班の人数と箏のならべてある配置で、どこにどう座らせたら混乱なく素早くできるかの所が少しとまどった。

4. アウトリーチについて、ご意見やご希望があればお書きください。

- ・ 大変素晴らしいと思います。このような機会は児童にとっても大変貴重です。今後も活動を継続して行ってください。是非お願いします！
- ・ こちらの単元に合ったものであれば大歓迎です。
- ・ ぜひ長く続けて欲しいと思います。
- ・ 毎年4年生に行っていただいています。できればもっとたくさんの子に経験させたい気持ちです。人数的には50～60名以上になると体育館などになり、現在していただいている良さとは違ってしまおうでしょうか？来年度はぜひこちらの指導計画に合った時期や内容で行えるとよいです。
- ・ 4年生対象ということで、とても有難いです。来年もよろしくお願い致します。
- ・ 和楽器に学年の全員がふれられる、演奏できる、プロの演奏がきけるという企画を考えて下さったことに心より感謝申し上げます。身近で音のひびき、生の演奏が聴けることも素晴らしいです。体験できること、身近に名曲にふれられる機会がこれからも作り出せたらとてもよい情操教育になると思います。
- ・ 大変有難い活動で、来年以降も様々なジャンルの音楽を聴かせていただきたいと思います。

②保育園・幼稚園アウトリーチ

目的	初めての生演奏の体験をしてもらい、音楽や楽器を好きになってもらう。 また、TANが10年来続けてきた若い弦楽器奏者のためのアドヴェントセミナー修了生のさらなる実践の場としても有意義な機会としている。	
実施施設	東京都中央区及び江東区豊洲地区の保育園・幼稚園(3園)	
対象	3歳～5歳	
参加者数	311名	
出演者	アドヴェントセミナー修了生 「2010年度コミュニティ事業一覧表」参照	
内容	好奇心が旺盛な3～5歳の幼児が対象のため、子ども達が聴きたいと思ってくれる楽曲の選定や興味もてるような話しの内容など、過去のプログラムやTAN職員の意見も取り入れ組み立てた。年齢別に20分～30分のコンサートとお話を聴いてもらう為、演奏者は回を重ねるごとに子どもたちとのコミュニケーションが円滑になり、演奏もより自然なものになってきた。 園児たちは、すぐに疑問に思ったことや感想を言葉にしたり、好きな音楽と一緒に歌ったり、体でリズムを取るなど、素直な反応を示していた。	

③高齢者福祉施設アウトリーチ


事業名	～晴海苑 箏と尺八のコンサート～
目的	身近に生の音楽を楽しんでもらう。
実施施設	高齢者総合福祉施設 晴海苑
対象	施設入所者及びデイケア利用者
参加者数	50名
出演者	特定非営利活動法人日本音楽集団
内容	施設のリクエストにより、箏と尺八の演奏会を実施。「春の海」の演奏のほか、童謡と一緒に歌うなど懐かしい曲を楽しんでいただいた。
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・しばらくぶりで思い出し、うっとりしました。 ・遠出ができませんのでまた来て欲しいです。 ・よかった。楽しかった。

④地域との協力アウトリーチ


地域の市民団体や行政と共催または協力して行ったアウトリーチ。

事業名	第9回桜・桜・桜が咲いた出前音楽会 in 晴海
目的	晴海地区の2つの特別養護老人ホーム利用者に桜並木のお散歩と音楽会を楽しんでいただく。
実施施設	中央区社会教育会館分館 アートはるみ ギャラリー
対象	晴海地区の2つの特別養護老人ホーム利用者、ボランティア参加者
参加者数	130名
出演者	松岡みやび(ハープ)
内容	中央区の市民団体である築島散歩の会との共催で毎年4月に開催している。当日は30名近いボランティアが会場の準備、散歩の介助、音楽会の手伝いなどを分担して担当した。今年は身近に聴くのはめずらしいハープのコンサートを楽しんでいただいた。
参加者の感想	・私は介護ヘルパーでもありますが、自分は付添いのボランティアです。車イスの方は高齢

	<p>者で曲を聴いている折は眠っている感じで目をつぶり聴きっていました(ものすごく癒されている感じ)。松岡さんの音色は人の心を揺らし、僕自身涙が流れました。人生とは悪くないと思った。</p> <p>・初めてハーブを生で聴くことができ感動しました。ハーブの優しく温かい音色、その音に包まれているときは幸せな気持ちになりました。</p>
助成・後援等	<p>共催:中央区築島散歩の会 後援:中央区社会福祉協議会</p>

事業名	よちよち・すくすくクラシックコンサート 【サポーター企画】	
目的	中央区の子どもをもつ家庭、特に未就学児の急増加に伴い、子育て期間でも生の音楽を楽しむことをあきらめない生活を、また、子どもたちには生まれた時から音楽に触れられる機会を提供し、日常生活の中でクラシック音楽を聴く習慣を持ってもらう。	
実施施設	中央区立女性センター「ブーケ21」1階	
対象	1回目 幼児(0才~2才)と保護者 40名 2回目 未就学児(3才~6才)と保護者 60名 *応募多数の場合は抽選とする。	
参加者数	1回目 38名(応募は115名) 2回目 60名(応募は70名)	
出演者	カントウス・クアルテット(弦楽四重奏団)	
内容	年齢別に分けて30分と45分のプログラムを実施。弦楽器のお話や演奏を聴いたり、子供たちは音楽に合わせて動いたりし、保護者の方々にもリラックスして音楽を楽しんでもらった。	
参加者の感想	<p>・久しぶりの生クラシックを聞けてとてもハッピーでした。娘もとても楽しそうだったので、ぜひまたの機会を楽しみにしております。</p> <p>・子どもが楽しめる工夫が随所にしてあってよかった。もっと回数を増やしてほしい。</p> <p>・子どもが騒いでも良い雰囲気です親子で楽しめました。クラシックというとかしこまったかんじで敷居が高かったのでうれしかったです。</p> <p>・子供が音楽にあわせて体を動かしていてとても楽しそうでした。</p>	
助成・後援等	<p>後援:中央区社会福祉協議会 協力:中央区立女性センター「ブーケ21」、中央区民生・児童委員有志</p>	


⑤第一生命保険 マッチングギフトを利用したアウトリーチ

事業名	音楽の贈り物	
目的	第一生命が支社や部ごとに行う地域社会貢献活動(ボランティア活動)のひとつとして、各支社および部のコーディネートによりTANがアウトリーチを提供し、企画した支社や部の関連地域にお住いの皆様に身近に音楽を楽しんでもらう。	
主催支社および部署	①保険金部 ②大井総務室	
実施施設	①神奈川県内の特別養護老人ホーム ②神奈川県足柄上郡大井町立大井小学校	
対象	①入所者 ②4年生	
参加者数	①95名	

	②141名	
出演者	第一生命ホールの主催・共催公演に出演するアーティストや団体 「2010年度コミュニティ事業一覧表」参照	
内容	今年3年目の保険金部のコーディネートで邦楽器アンサンブルが神奈川県の特養老人ホームに「音楽の贈り物」を届け、長唄や唱歌を口ずさむなど約1時間のコンサートを楽しんでいただいた。3年目の大井総務室は、昨年とは異なる大井町内小学校4年生を対象に金管五重奏によるアウトリーチを行った。学校で生演奏を聴くのは初めてという子供達は、音楽家と共に楽しい中にも発見の多い充実した時間を過ごした。	
助成・後援等	寄付：第一生命保険職員、第一生命保険株式会社	


(2) 弦楽器体験ワークショップ

今年度は協力児童館が1館増え、近隣の児童館4館で実施をした。

事業名	かんたん？むずかしい？弾いてみた～い！弦楽器	
目的	中央区内在住の小学生を対象に、普段目にするものの少ない弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)を体験する機会を作り、子どもの未知の世界への興味・関心を引き出し、発想力を養うと共に、テレビやゲーム、CDなどではない生の楽器の音を身近に感じてもらう。	
実施施設	東京都中央区立児童館(4館)	
対象	小学生	
参加者数	130名	
出演者	アドヴェントセミナー修了生 「2010年度コミュニティ活動一覧表」参照	
内容	各館30名の参加者を事前募集し、弦楽器の演奏を聴き、実際に子ども用分数楽器を体験する。	
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・チェロが大きくてすごかったです。うまのしっぽでゆみができているのでおどろきました。ほかの楽器もすごかったです。またやりたいです。 ・おしえてくれたせんせいがやさしくおしえてくれてとってもうれしかったです。 ・いろいろな音がでて楽しかった。ひきたいせいが大変だった。 ・バイオリンはかんたんそうに見えていたけど、むずかしかったのでびっくりしました。バイオリンの糸は太さが4本ともちがったのでさいしょはかんけないのかなと思ったけど、音がかわることに気がついて、よかったと思っています。これからもがんばってみんなにいい音楽を聞かせてあげてください。 	
助成・後援等	助成：子どもゆめ基金 楽器寄贈：JPモルガン証券	

(3) 第一生命ホール オープンハウス

今年度よりサポーターによる実行委員会を組織、5名が中心となり企画・運営を行った。

事業名	第一生命ホール オープンハウス 2010 『トリトン・オーケストラ百科展』～弦楽器の魅力、総ざらえ～ 【サポーター企画】	
目的	年に一度、第一生命ホールを開放してホールの中で様々な音楽イベントを楽しんでもらい、ホールを知ってもらおうとともに、小さなお子さんから大人まで幅広く音楽を楽しんでもらう。	
実施施設	第一生命ホール、トリトンスクエアX棟 5階会議室 晴海トリトンスクエアグランドロビー	
対象	未就学児から小学校低学年年齢のお子さんを持つ家族を中心に一般の方	
参加者数	619名	◎大窪道治
出演者	管弦楽団ARCUS(アルクス)メンバー トリトン・ヴィルトゥオーゾアンサンブル	
内容	今年度はサポーターの中から実行委員会を結成し、実行委員メンバーを中心に定期的に会議を開き、事前準備から当日までの運営を行った。 内容としては、テーマを「弦楽器」にしぼり、ステージ上でのレクチャーやコンサート、バックステージツアー、楽器体験、手作り体験、影アナウンス体験などを実施した。	
サポーター	実行委員 5名 当日参加サポーター 97名	
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> 最後のコンサートはとてもよかったです。バックステージツアーは日頃見れないところを見せていただいてありがとうございました。ボランティアのみなさんありがとうございました。ご苦労さまでした。 舞台の裏側(普段見れないところ)が見学できて大変良かった。建物がよく考えて作られていると思いました。大変素晴らしい企画です！音楽により親しみが持てました。 生まれて初めてバイオリンを弾くことが出来て、感激！トリトンにこんな素敵なホールがあることも知らなかったけれど、バックステージツアーにも参加して、勉強になりました。楽しかったです。 	
助成・後援等	助成:平成22年度文化庁芸術拠点形成事業 後援:中央区・中央区教育委員会 協力:ヤマハ株式会社、中央区交響楽団	

(4) ハロー！コンサート

対象が限定されるアウトリーチから一歩踏み出し、「こんにちは！トリトン・アーツ・ネットワークです」と地域にご挨拶する、ホールと開かれたコミュニティとをつなぐ役割を担う企画。参加2年目を迎える「中央区まるごとミュージアム」では地域の郷土天文館の協力を得て、プラネタリウムコンサートを行った。毎年参加をしている「芝浦工業大学大学開放DAY」では、来場の親子に木管四重奏を楽しんでいただいた。


事業名	中央区まるごとミュージアム「星空コンサート」
目的	中央区主催のまるごとミュージアム参加企画として、中央区の文化・芸術の振興に寄与する。今年はタイムドーム明石と協働しプラネタリウムとコンサートを中央区の方に楽しんでもらう。
実施施設	中央区立郷土天文館「タイムドーム明石」

対象	一般の方
参加者数	119名
出演者	アドヴェントセミナー修了生 「2010年度コミュニティ事業一覧表」参照
内容	星空を眺めながら星にまつわる曲を楽しんだ。会場を提供くださったタイムドーム明石にも広報や当日来場者のケアなど多大な協力をいただいた。
助成・後援等	協力：中央区立郷土天文館「タイムドーム明石」


プロジェクト名	芝浦工業大学大学開放DAY！「クリスマスコンサート」
目的	芝浦工業大学大学開放DAY！に来場した方に生演奏を楽しんでいただく。
実施施設	芝浦工業大学大学豊洲キャンパス
対象	一般の方
参加者数	90名
出演者	第一生命ホールの主催・共催公演に出演するアーティストや団体 「2010年度コミュニティ活動一覧表」参照
内容	木管四重奏によるお話つきコンサートをカフェテリアで開催した。 芝浦工業大学とは2006年より協働して、豊洲地区在住・在勤者に音楽をお届けしている。
助成・後援等	共催：芝浦工業大学豊洲キャンパス

(5) ロビーコンサート

今年度より本格的にスタートした「晴海トリトンスクエア グランドロビーコンサート」の活動を中心に、サポーターによるロビーコンサート班の活動が軌道に乗り、組織として主体的な活動を行った。


事業名	①晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート 【サポーター企画】	
目的	第一生命ホールとTANが活動の拠点としている、晴海トリトンスクエアのグランドロビーにて定期的にコンサートを開催し、お昼休みのひとときを憩いの場としてトリトンスクエア勤務者及び近隣地区在住者に音楽を楽しんでいただく。また、第一生命ホールの存在とNPO法人トリトン・アーツ・ネットワークの活動を理解いただき知名度の向上を図る。	
実施施設	晴海トリトンスクエアグランドロビー	
対象	トリトンスクエア勤務者及び近隣地区在住者	
参加者数	510名	
出演者	第一生命ホールの主催・共催公演に出演するアーティストや団体 「2010年度コミュニティ事業一覧表」参照	
内容	サポーターが実行委員会を組織し、年4回の各回ごとにリーダーとサブリーダーを決め、出演者の選定、チラシ作成、広報・宣伝、当日の運営を行った。 2010年度は、4月は新入社員歓迎、7月は七夕、1月は新春、3月はひなまつりとそれぞれテーマを決めて時期に合う内容を企画しコンサートをお届けした。	
サポーター	実行委員 18名	
参加者の感想	・仕事でピリピリしていたが、立ち止まって1曲聴いたら涙が出てきた。元気をもらったので午後もがんばります。 ・心癒されるひとときです。 ・小さい子供も一緒に聴けるからうれしいです。	
助成・後援等	協賛：晴海トリトンスクエア	

事業名	②第一生命日比谷本社 ランチタイム・ロビーコンサート
目的	TAN を支援いただいている第一生命保険の日比谷本社が入るビルのロビーでコンサートを開催し、社員や近隣にお勤めの方にお昼のひととき音楽を楽しんでいただく。
実施施設	第一生命日比谷 DN タワー1 階ロビー
対象	第一生命保険社員および近隣在勤者
参加者数	80 名
出演者	第一生命ホールの主催・共催公演に出演するアーティストや団体 「2010 年度コミュニティ事業一覧表」参照
内容	「ふたりにコンサート」に出演する歌手に登場いただき、オペラアリアを楽しんでいただいた。公演前だったため、オペラの聴き方や曲についての解説も入れながらコンサートの楽しみ方を提案した。

事業名	③室内楽ロビーコンサート	
目的	若い弦楽器奏者のためのアドヴェントセミナーの成果を発表する場の1つとして行う公演。 弦楽アンサンブルと室内楽のリハーサルを同時に行うことにより、相乗効果を高め、技術的な面だけでなく、作品への深い理解と表現力の向上を目指し、その完成度を披露する。	
実施施設	第一生命ホール ロビー	
対象	一般の方	
参加者数	127 名	
出演者	松原勝也(ヴァイオリン) 川崎和憲/市坪俊彦(ヴィオラ) 山崎伸子(チェロ) アドヴェント弦楽合奏団	
内容	4つの各グループが以下の室内楽を演奏。 ハイドン: 弦楽四重奏曲第 62 番変ロ長調 op.55-3 Hob.Ⅲ-62 ドヴォルザーク: 弦楽五重奏曲第 2 番ト長調 op.77 ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第 4 番ハ短調 op.18-4 より第 1・2・4 楽章 メンデルスゾーン: 弦楽八重奏曲変ホ長調 op.20 講師が 1 名ずつ加わることにより、良い緊張感が生まれ、受講生を刺激した様子。来場者は、恒例化しているこのロビーコンサートを楽しみにしている弦楽器愛好家の方々が中心で、演奏する側も聴く側も真剣そのものだった。	
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・1 曲目、1st ヴァイオリンの主導力に、若手がぐらいついていくすごさがあった。2 曲目、チェロの主導力が強い印象を与えて、チェロの迫力ときびしさを身を感じた。3 曲目・4 曲目は好演でした。そろっていて素晴らしい。 ・ロビーコンサートということで気軽に来ましたが、本格的な演奏が聴けて良かった。 ・セミナーの趣旨が大変素晴らしいと思います。先生方のリードで密度の高い演奏をされていました。 	
助成・後援等	後援: 社団法人日本演奏連盟	

(6) レクチャーコンサート

毎年継続して行っている弦楽四重奏レクチャーを古典四重奏団が実施をした。

事業名	古典四重奏団 レクチャーコンサート Plus#14 ～魅惑のトリコロール～	
目的	TAN が継続的に行っているクアルテット公演をより深く知ってもらうためのレクチャーコンサート。	
実施場所	晴海トリトンスクエア X 棟 5 階 会議室	
対象	クアルテット愛好者・クラシック愛好者等	
参加者数	66 名	
出演者	お話: 田崎瑞博 演奏: 古典四重奏団	
内容	古典四重奏団が公演に先立ち、時代背景や当時活躍していた作曲家との関係、影響を受けた旋法など、分かりやすい解説と演奏とで進行していった。説明の直後に、例としての演奏が行われる為、聴衆は具体的な理解がしやすかったようだ。また、このレクチャーを通じて、本公演への知的好奇心が増したようだ。	
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・地味で難解といわれる弦楽四重奏ですが、トークによって興味深く演奏を聴くことができました。とても理解しやすかったです。 ・貴社主催の公演はいつも魅力的なアーティストの音楽を良心的な価格で聴衆に提供していると感心しております。終演後のサイン会の方も友人から大変好評です。 	

(7) 協力企画

第一生命&アフラック提携 10 周年企画として「親子ふれあいコンサート」を丸ビル内マルキューブ（東京）とデュオこうべ（神戸）の 2 箇所で開催をした。会場では「ゴールドリボン心のメッセージ展～小児がんの子供たちの作品集～」も同時開催され多くの方が来場された。

目的	TAN が協力をいただいている企業や団体、施設などから企画料をいただき委託を受けて行うアウトリーチやコンサート。
実施場所	「2010 年度コミュニティ事業一覧表」参照
対象	
参加者数	
出演者	
内容	<p>以下の 4 つの企画を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気倶楽部サロンコンサート ・文化教養学園アウトリーチコンサート ・第一生命&アフラック提携 10 周年企画「親子ふれあいコンサート」 ・中央区社会福祉協議会主催「介護家族のための音楽会と食事会」

4. 文化ボランティア拠点づくり事業

2001年より中央区在住・在勤者や音楽愛好家を中心とするボランティア（TANサポーター）の組織化と支援を目的とした活動を行っている。

TANのミッションに賛同してサポーター活動への参加を希望する人は、登録手続きをすることによって活動に参加できる。現在近隣住民、音楽ファンを中心に60人ほどが登録し、それぞれの都合に合わせて活動を行っている。

2010年度の主な活動は次の6つに分けられる。

①第一生命ホール主催・共催公演のスタッフサポート	31 活動	参加延人数 96 名
第一生命ホールに来場のお客様に気持ちよく過ごしていただくために、スタッフと一緒にチラシの挟み込み作業、パンフレット配布、花束受付、アンケート回収などを行う。		
②コミュニティ活動のスタッフサポート	35 活動	参加延人数 73 名
コミュニティ活動先で会場設営や写真・ビデオの撮影、鑑賞レポート作成などを行う。また、当日のサポートだけでなくスタッフと一緒にアウトリーチの新規企画も検討し実行した【よちよち・すすくくクラシックコンサート】。		
③第一生命ホールオープンハウスの企画・運営	1 活動	参加延人数 97 名
P49 参照		
④育児支援コンサートの子どもの音楽スタジオ準備・運営	1 活動	参加延人数 56 名
育児支援コンサートの第一部「子どもの音楽スタジオ」での子どもの受け入れと音楽スタジオのサポートを行った。4つのスタジオごとにサポーターチーフを決め、アーティストとの打ち合わせや準備を行い、当日は56名のサポーターと共に各班に分かれ活動をした。お子さんを預かることによって、親御さんたちにホールでゆっくりと音楽を楽しむ機会を提供することができた。		
⑤晴海トリトンスクエア グランドロビーコンサートの企画・運営	4 活動	参加延人数 48 名
季節ごとに（4月・7月・1月・3月）4回開催した。サポーターが実行委員会を組織し、出演者の選定やチラシの作成および配布、当日の運営などを行った。		
⑥事務のサポート	11 活動	参加延人数 34 名
事務所内でのチラシの挟み込みやダイレクトメール発送、TANかわら版発送、アンケート集計作業などを行った。		

<サポーターミーティングの実施>

毎月主に第3土曜日の18時～20時にサポーターミーティングを実施し、「第一生命ホールオープンハウス」と「育児支援コンサート」について企画・準備を行った。

<サポーター向け講座の実施>

サポーターからの要望により、2010年度からサポーター向け講座を開始した。初年度は知っているようで知らない「レセプション」の仕事について学んだ。コンサートホールの顔「レセプションのお仕事拝見」

開催日時：2010年11月20日（土）17：00～18：00

開催場所：第一生命ホール ホワイエ

講師：星野愛子（サントリーパブリシティサービス株式会社）

参加人数：12名

<クリスマスコンサートへのご招待>

毎年12月に開催のアドヴェントセミナー「クリスマスコンサート」に日頃の活動への感謝を込めてサポーターを招待し、終演後は演奏家、サポーター、TAN スタッフ合同の懇親会を実施し交流を深めた。



オープンハウス 2010 サポーター集合写真 ©大窪道治

5. 評価事業

2008年度評価より第3次評価委員会に評価いただいているが、2010年度はいよいよ評価三カ年の最終年度の評価となる。2008年度、2009年度の評価は、評価委員による第三者的な批評というより、TANのミッションから見て、TAN自身がどの様に考えて行動すべきなのかをTANが自らの振返りを実施することが重要であるとのスタンスに立ち、その自己評価に対して、評価委員会がミッション性に沿っているかも含め、様々なアドバイスを含め、評価いただいた。

2010年度評価は第1回評価委員会を2011年2月2日に開催し、TANから活動状況の中間報告が行われた後、最終年度の評価に向けた方向性が話し合われた。第2回評価委員会は2011年4月15日に開催し、TAN中間報告以降の最終活動報告が行われ、ミッション評価および業務計画に対する評価が様々な面から検討した。また併せてホームページリニューアル内容や事業報告書の内容についても検討した。第3回評価委員会は2011年5月9日に開催し、2010年度の総合評価と今後の活動に向けた提言について検討した。提言については、2011年度および中長期的な視点に基づく提言、NPOとしてのTANのあり方、第4次評価委員会への申し送りを検討した。

それぞれの立場からの評価委員会メンバーの貴重なアドバイスをいただき、従来から業務計画や取組み等に組み入れてきた。ミッションを強く打出した方向性はともすると日々の業務で失いがちな視点の再確認をさせていただいた。武濤委員長始めメンバーの皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。

なお評価結果については、「2010年度評価事業報告書」にまとめているのでぜひご一読をお願いします。

IV. 広報活動

1. 新聞・雑誌

公演名	媒体名	掲載日	コーナー名
屋の音楽さんぽ 第2回 菊池洋子 ピアノ・リサイタル	音楽の友	2010年5月号	
屋の音楽さんぽ 第2回 菊池洋子 ピアノ・リサイタル	読売新聞[タ刊]	2010年8月17日(火)	シティライフ
屋の音楽さんぽ 第2回 菊池洋子 ピアノ・リサイタル	音楽の友	2010年8月号	コンサート・ガイド&チケットインフォメーション(別冊)
屋の音楽さんぽ 第3回 樋口達哉&成田博之 テノール&バリトン デュオ・リサイタル	音楽の友	2011年1月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
屋の音楽さんぽ 第4回 高木綾子 フルーツ・リサイタル	音楽の友	2011年3月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
屋の音楽さんぽ 第5回 小野明子 ヴァイオリン・リサイタル	音楽の友	2011年4月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
630コンサート～充電の1時間～ 塩谷 哲・松本和将(ピアノ・デュオ)	読売新聞[タ刊]	2010年9月7日(火)	シティライフ
630コンサート～充電の1時間～ 塩谷 哲・松本和将(ピアノ・デュオ)	ぶらあぼ	2010年8月号	ぴっくあっぷ
630コンサート～充電の1時間～ 曽根麻矢子(チェンバロ) ゲスト:古部賢一(オーボエ)	読売新聞[タ刊]	2011年1月18日(火)	シティライフ
630コンサート～充電の1時間～ 曽根麻矢子(チェンバロ) ゲスト:古部賢一(オーボエ)	古楽情報誌 アントレ	2011年1&2月合併号	Concert Guide
ふたりでコンサートⅦ～オペラの楽しみ～	定年時代	2010年9月14日(火)	音楽(p3)
ふたりでコンサートⅦ～オペラの楽しみ～	音楽の友	2010年9月号	今月の丸得情報(破格で聴けるトップ・アーティスト)
ふたりでコンサートⅦ～オペラの楽しみ～	Tokyo Metropolitan Tsukiji Market	2010年10・11月号	
ふたりでコンサートⅦ～オペラの楽しみ～	音楽の友	2010年11月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
育児支援コンサート ～子どもを連れて、クラシックコンサート	音楽の友	2011年1月号	今月の丸得情報
育児支援コンサート ～子どもを連れて、クラシックコンサート	音楽の友	2011年3月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
夏休み キッズのためのコンサート	読売新聞[タ刊]	2010年7月27日(火)	シティライフ
夏休み キッズのためのコンサート	音楽の友	2010年8月号	コンサート・ガイド&チケットインフォメーション(別冊)
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット	読売新聞[タ刊]	2010年4月27日(火)	シティライフ
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット	朝日新聞[タ刊]	2010年6月2日(水)	インタビュー
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット	ぶらあぼ	2010年5月号	ぴっくあっぷ
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット	モーストリークラシック	2010年5月号	特選館
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット	サラサーテ	2010年6月号	
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット	ストリング	2010年7月号	編集後記
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット	ストリング	2010年8月号	ミロ・カルテット その驚異の音の秘密
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット	音楽の友	2010年8月号	People
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット	音楽の友	2010年8月号	ConcertReviews
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット	音楽の友	2010年8月号	クラシック音楽番組表 8月の予定 (NHK Bshi ハイビジョンクラシック倶楽部 8月6日(金))
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット(第2日)	モーストリークラシック	2010年8月号	公演Reviews
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット(第2日)	モーストリークラシック	2011年2月号	2010年回顧 ベストコンサート編(渡辺和 選)
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット(第2日)	音楽の友	2011年2月号	2010ベスト・コンサート 25 (片桐卓也 選)
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット(第2日)	音楽現代	2010年9月号	Criticize a Concert(執筆:中村靖)
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Festa” ミロ・カルテット(第3日、第4日)	音楽の友	2010年6月号	コンサート・ガイド&チケットインフォメーション(別冊)
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Galleria” エルデーディ弦楽四重奏団	読売新聞[タ刊]	2010年10月5日(火)	シティライフ
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Galleria” エルデーディ弦楽四重奏団	音楽の友	2010年10月号	コンサート・ガイド&チケットインフォメーション(別冊)
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Galleria” 古典四重奏団～魅惑のトリコロール～	音楽の友	2010年9月号	People(執筆:山田治生)
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Galleria” 古典四重奏団～魅惑のトリコロール～	音楽の友	2011年3月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Galleria” カルテット・エクセルシオ《Quartet+(カルテット・プラス)》	音楽の友	2011年1月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Galleria” カルテット・エクセルシオ《Quartet+(カルテット・プラス)》	モーストリークラシック	2011年2月号	Concert Selection
カルテット・ウィークエンド2010-2011“Galleria” カルテット・エクセルシオ《Quartet+(カルテット・プラス)》	音楽の友	2011年3月号	Concert Reviews 東京の演奏会から (執筆:岩下真好)

公演名	媒体名	掲載日	コーナー名
クアルテット・ウィークエンド2011-2012 カルミナ四重奏団	音楽現代	2011年1月号	2011年1月～2012年3月来日する 外国人アーティスト一覧
クアルテット・ウィークエンド2011-2012 カルミナ四重奏団	音楽の友	2010年9月号	[特別企画]来日演奏家速報2011 (2011年にぜひ聴きたい器楽・室内楽 執筆:渡辺和彦)
音楽のある週末 第1回 千住真理子 ＜弦楽器の魅力＞ ヴァイオリン・リサイタル	音楽の友	2011年2月号	2010ベスト・コンサート 25 (三善清達 選)
音楽のある週末 第1回 千住真理子 ＜弦楽器の魅力＞ ヴァイオリン・リサイタル	読売新聞[タ刊]	2010年5月11日(火)	シテライフ
音楽のある週末 第2回 南紫音 ＜弦楽器の魅力＞ ヴァイオリン・リサイタル	ストリング	2010年7月号	ユーモレスクCD(新譜紹介)
音楽のある週末 第2回 南紫音 ＜弦楽器の魅力＞ ヴァイオリン・リサイタル	音楽の友	2010年7月号	コンサート・ガイド&チケットインフォメーション(別冊)
音楽のある週末 第3回 藤原真理 ＜弦楽器の魅力＞ チェロ・リサイタル	読売新聞[タ刊]	2010年8月24日(火)	ガイド
音楽のある週末 第4回～第6回	音楽の友	2010年7月号	今月の丸得情報 (630コンサート表記あり)
音楽のある週末 第4回 イングリット・フリッター ピアノ・リサイタル	音楽の友	2010年9月号	コンサート・ガイド&チケットインフォメーション(別冊)
音楽のある週末 第4回 イングリット・フリッター ピアノ・リサイタル	音楽の友	2010年10月号	コンサート・ガイド&チケットインフォメーション(別冊)
音楽のある週末 第4回 イングリット・フリッター ピアノ・リサイタル	音楽現代	2010年10月号	10月のプレビュー
音楽のある週末 第4回 イングリット・フリッター ピアノ・リサイタル	音楽現代	2011年2月号	演奏会批評 ピアノ・鍵盤楽器 (菅野泰彦)
音楽のある週末 第5回 梯 剛之 ピアノ・リサイタル	音楽の友	2010年11月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
音楽のある週末 第5回 梯 剛之 ピアノ・リサイタル	ぶらあぼ	2010年11月号	びっくあぶ
音楽のある週末 第6回 竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル	読売新聞[タ刊]	2011年2月1日(火)	シテライフ
音楽のある週末 第6回 竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル	毎日新聞	2011年2月8日(火)	遊ナビ 音楽
音楽のある週末 第7回 中村絢子 ピアノ・リサイタル	音楽の友	2011年4月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
アドヴェントセミナー&クリスマスコンサート2010	ぶらあぼ	2010年12月号	びっくあぶ
アドヴェントセミナー受講生募集	音楽の友	2010年8月号	Scramble Shot
子どものためのクリスマスコンサート	音楽の友	2010年12月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
クリスマスコンサート 2010	音楽の友	2010年12月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
<TAN's Amici Condert> 第8回ビハホール・チェロコンクール優勝記念コンサート 加藤文枝チェロ・リサイタル	音楽の友	2010年5月号	
<TAN's Amici Condert> フザンソン国際指揮者コンクール優勝記念演奏会 山田和樹/東京混声合唱団	音楽現代	2010年6月号	
<TAN's Amici Condert> 日本音楽集団第199回定期演奏会	音楽の友	2010年7月号	ConcertReviews
<TAN's Amici Condert> 林光・東混八月のまつり 31	音楽の友	2010年8月号	コンサート・ガイド&チケットインフォメーション(別冊)
<TAN's Amici Condert> 林光・東混八月のまつり 31	音楽の友	2010年10月号	ConcertReviews (國土潤一)
<TAN's Amici Concert> ショパンの愛したブレイエル・ピアノ～弦楽器と奏でる美しい詩～	朝日新聞[タ刊]	2010年10月13日(水)	マリオン
<TAN's Amici Concert> ショパンの愛したブレイエル・ピアノ～弦楽器と奏でる美しい詩～	音楽の友	2010年11月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
<TAN's Amici Concert> 日本音楽集団第201回定期演奏会	音楽の友	2010年11月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
<TAN's Amici Condert> 田中信昭 エクソンモービル音楽賞受賞記念 東京混声合唱団特別演奏会	音楽の友	2011年2月号	Scramble Shot
<TAN's Amici Condert> 田中信昭 エクソンモービル音楽賞受賞記念 東京混声合唱団特別演奏会	日本経済新聞	2011年3月16日(水)	文化 プロ合唱団、率い55年 ◇東京芸大声楽科の仲間と創立、新作にも尽力◇ 田中信昭
<TAN's Amici Condert> 田中信昭 エクソンモービル音楽賞受賞記念 東京混声合唱団特別演奏会	音楽現代	2011年3月号	田中信昭 エクソンモービル音楽賞受賞 インタビュー その1 (東京混声合唱団特別演奏会)
<TAN's Amici Condert> 田中信昭 エクソンモービル音楽賞受賞記念 東京混声合唱団特別演奏会	音楽の友	2011年4月号	コンサート・ガイド&チケット・インフォメーション
<TAN's Amici Condert> 田中信昭 エクソンモービル音楽賞受賞記念 東京混声合唱団特別演奏会	音楽現代	2011年4月号	田中信昭 エクソンモービル音楽賞受賞 インタビュー その2 (東京混声合唱団特別演奏会)
<TAN's Amici Condert> 田中信昭 エクソンモービル音楽賞受賞記念 東京混声合唱団特別演奏会	ぶらあぼ	2011年4月号	ぶれすてーじ

2. テレビ・ラジオ

公演名	局・番組名	放送日
カルミナ四重奏団 (再放送:2009年6月13日収録)	NHK BS-hi ハイビジョン クラシック倶楽部	2010年4月12日6:00~6:55放送
ヘンシェル弦楽四重奏団 (再放送:2007年11月21日収録)	NHK BS-hi ハイビジョン クラシック倶楽部	2010年6月15日6:00~6:55放送
カルミナ四重奏団 (再放送:2009年6月13日収録)	NHK BS-hi ハイビジョン クラシック倶楽部	2010年9月7日6:00~6:55放送
クアルテット・ウィークエンド”Festa” ミロ・クアルテット(第2日)	NHK BS-hi ハイビジョン クラシック倶楽部	2010年8月6日6:00~6:55放送
クアルテット・ウィークエンド”Festa” ミロ・クアルテット(第2日)	NHK BS2 クラシック倶楽部	2010年9月28日10:00~10:55放送
Meet the 和楽器 豊洲小学校 「プロ直伝 和楽器体験」(12月17日(金))	江東ワイドスクエア 今週の話題	2010年12月29~31日放送
クアルテット・ウィークエンド”Festa” ミロ・クアルテット(第2日)	NHK BS-hi ハイビジョン クラシック倶楽部	2011年2月22日6:00~6:55放送
音楽のある週末 イングリット・フリッター ピアノ・リサイタル	NHK BS-hi ハイビジョン クラシック倶楽部	2011年2月23日6:00~6:55放送
音楽のある週末 イングリット・フリッター ピアノ・リサイタル	NHK FM ベストオブクラシック	2011年3月28日 19:30~21:10放送
第一生命ホールオープンハウス2010	FMえどがわ 「あしたへ…笑顔りんりん」	2010年7月16日16:00~16:20放送
秋のコンサート情報(2010年10~12月)	FMえどがわ 「あしたへ…笑顔りんりん」	2010年9月17日16:00~16:20放送
冬のコンサート情報(2011年1~3月)	FMえどがわ 「あしたへ…笑顔りんりん」	2010年12月31日15:50~16:10放送

3. トリトン・アーツ・ネットワークからの情報発信

かわら版

号	発行日	主な記事／インタビュー
89	2010年4月1日	屋の音楽さんぽ 第1回 藤原道山 尺八リサイタル
90	2010年5月1日	音楽のある週末 第2回 南紫音 ヴァイオリン・リサイタル
91	2010年6月1日	屋の音楽さんぽ 第2回 菊池洋子 ピアノ・リサイタル
92	2010年7月1日	630コンサート～充電の1時間～ 塩谷 哲・松本和将(ピアノ・デュオ)
93	2010年9月1日	音楽のある週末 第4回 イングリット・フリッター ピアノ・リサイタル／第5回 梯 剛之 ピアノ・リサイタル
94	2010年10月1日	ふたりにコンサートⅦ～オペラの楽しみ～
95	2010年11月1日	音楽のある週末 第6回 竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル
96	2010年12月1日	育児支援コンサート ～子どもを連れて、クラシックコンサート(小川典子)
97	2011年2月1日	屋の音楽さんぽ 第4回 高木綾子 フルーツ・リサイタル
98	2011年3月1日	音楽のある週末 第7回 中村紘子 ピアノ・リサイタル

ぶらあぼ

号	発行日	主な記事／インタビュー
5月号	2010年4月18日	屋の音楽さんぽ 第1回 藤原道山 尺八リサイタル
6月号	2010年5月18日	音楽のある週末 第2回 南紫音 ヴァイオリン・リサイタル
7月号	2010年6月18日	屋の音楽さんぽ 第2回 菊池洋子 ピアノ・リサイタル
8月号	2010年7月18日	音楽のある週末 第3回 藤原真理 チェロ・リサイタル
9月号	2010年8月18日	音楽のある週末 第4回 イングリット・フリッター ピアノ・リサイタル
10月号	2010年9月18日	音楽のある週末 第5回 梯 剛之 ピアノ・リサイタル
11月号	2010年10月18日	ふたりにコンサートⅦ～オペラの楽しみ～
12月号	2010年11月18日	育児支援コンサート ～子どもを連れて、クラシックコンサート
1月号	2010年12月18日	屋の音楽さんぽ 第3回 樋口達哉&成田博之 テノール&バリトン デュオ・リサイタル
2月号	2011年1月18日	音楽のある週末 第6回 竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル
3月号	2011年2月18日	屋の音楽さんぽ 第4回 高木綾子 フルーツ・リサイタル
4月号	2011年3月18日	音楽のある週末 第7回 中村紘子 ピアノ・リサイタル

4. その他

チケットデスク新システム導入

2011年度公演チケット発売日である2011年2月28日よりチケットデスク新システムを導入した。新システムにより、お客さまが24時間インターネット上からも座席選択をしてチケットを購入できるほか、支払方法が従来からの銀行振込、郵便振替に加え、クレジットカード決済やコンビニエンスストア支払などの種類が増え、よりチケットを購入しやすい環境になった。また、チケット発券、管理業務が大幅に効率化できた。

ホームページリニューアル

2011年2月19日より新しいホームページを公開した（制作：SETENV、デザイン：山森晋平）。主な改善点は次のとおり。

- ①公演活動とコミュニティ活動の「二つの柱」をバランスよく伝える
- ②タイムリーに情報を発信、最新情報を見やすくする
- ③更新管理が安全かつ機能的なシステムを導入する
- ④インターネット上でのチケット購入を促進する導線
- ⑤アーカイヴとしての機能を充実させる
- ⑥親しみやすいデザイン

ロゴリニューアル

2011年度の10周年に向けて、10周年記念ロゴとTANロゴのリニューアル版を作成した（制作：SETENV、デザイン：山森晋平（株式会社グランドベース））。団体名称を広めるため、識字しやすいゴシックフォントを使用し、略称であるTANを強調した。従来よりも親しみやすさを感じられるデザインになった。また、多様な印刷形態や媒体の表示に応じられるよう2種類を作成した。

10周年記念ロゴ



団体ロゴ



V. 収支報告

平成22年度収支計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

特定非営利活動法人

トリトン・アーツ・ネットワーク

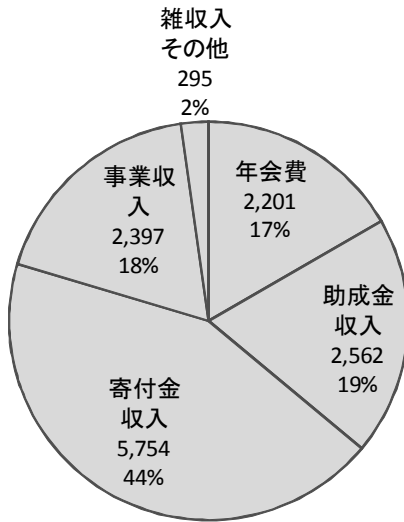
(単位：円)

科 目		金 額	
I 収入の部			
1	年会費収入 個人年会費 法人年会費	7,730,000 17,000,000	24,730,000
2	助成金収入 助成金収入		18,697,352
3	寄付金収入 寄付金収入		46,000,000
4	事業収入 チケット売上高 企画料収入 販売受取手数料 かわら版掲載料	20,479,400 1,102,500 179,368 756,000	22,517,268
5	雑収入 受取利息 雑収入	16,483 2,441,376	2,457,859
6	棚卸資産振替収入 貯蔵品		1,051,179
7	長期未払金収入 第一リース		2,872,140
当期収入合計 (A)			118,325,798
II 支出の部			
1	事業費 公演制作費 地域活動制作 評価システム サポーター 業務委託料 外注印刷費 広告宣伝費 ホームページ チケットシステム手数料 通信費 社用外出交通費	41,332,831 6,197,586 1,044,627 329,579 9,053,351 590,716 7,015,348 1,613,981 198,393 906,929 74,700	68,358,041
2	管理費 給料手当等 通勤交通費 法定福利費 福利厚生費 顧問料 会議費 交際費 諸会費 備品消耗品費 新聞図書費 支払手数料 レンタル料 水道光熱費 地代家賃 賃借料 租税公課 雑費	25,916,499 1,017,740 2,723,553 93,722 1,443,500 3,253 346,164 79,500 1,642,606 14,001 142,859 25,200 38,769 3,748,260 1,040,289 676,792 315	38,953,022
3	棚卸資産振替支出 貯蔵品		995,265
4	固定資産取得支出 リース資産 ソフトウェア	2,872,140 4,042,500	6,914,640
5	長期未払金返済支出 第一リース		30,744
当期支出合計 (B)			115,251,712
当期収支差額 (A) - (B)			3,074,086
前期繰越収支差額 (C)			32,726,563
次期繰越収支差額 (A) - (B) + (C)			35,800,649

平成 21 年度 収支グラフ

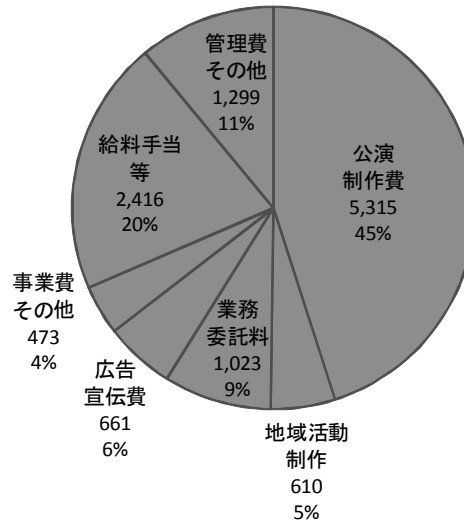
(平成 21 年度 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで)

収入の部



収入合計 13, 209万円

支出の部

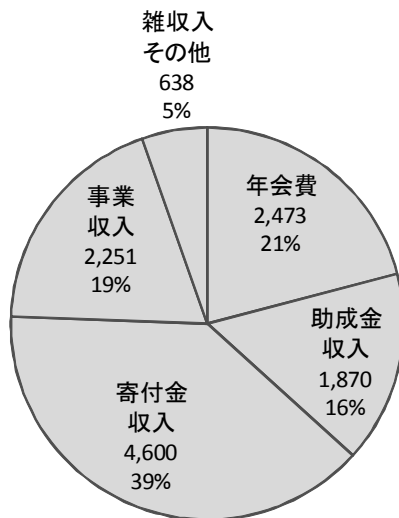


支出合計 11, 797万円

平成 22 年度 収支グラフ

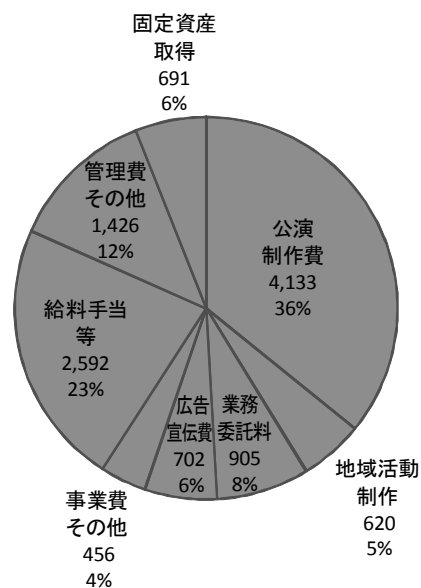
(平成 22 年度 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

収入の部



収入合計 11, 832万

支出の部



支出合計 11, 525万円

VI. 事業実施に関する事項

1. 運営に関する事項

(1) 総会

・ 通常総会 2010年6月24日

第1号議案2009年度事業報告及び収支決算承認の件と第2号議案役員選任の件が審議され全員異議なくこれを承認した。

開設以来の理事長であった加茂文治理事長が退任し、長浜力雄氏が理事に就任し、総会後開催された第41回理事会で理事長に就任した。

(2) 理事会

・ 第40回 2010年5月24日

審議事項として、第1号議案2009年度事業報告の件及び2010年度予算、第2号議案役員選任の件が審議され、全員異議なくこれを承認した。

理事選任では加茂理事1名退任、長浜理事候補1名、藤田理事他5名、永山監事1名の再任を承認した。

武濤評価委員長から2009年度の評価報告の概要が報告された。

その他2009年度業務計画結果、2010年度業務計画、2011年度アドヴェントセミナー収束後の室内楽アウトリーチセミナー案が報告された。

・ 第41回 2010年6月24日

審議事項として、第1号議案理事長選任の件が審議され、全員異議なく長浜理事長就任を承認した。

・ 第42回 2010年9月2日

審議事項なし。

報告事項として2011年度TAN10周年公演の概要が報告された。

・ 第43回 2010年12月2日

審議事項なし。

報告事項として2010年度予算執行状況、2011年度予算概要、TAN10周年公演企画書、TANホームページのリニューアル実施、チケット新システムの導入が報告された。

・ 第44回 2011年2月24日

審議事項として第1号議案2011年度予算の件が審議され、全員異議なくこれを承認した。

報告事項として2010年度予算執行状況、法人会員特典内容の一部改定、2011年度公演日程、10周年ロゴ・TAN新ロゴ決定、ホームページリニューアル内容、2011年度会議日程が報告された。

(3) 運営会議

2010年4月20日から2011年3月22日まで11回にわたり開催した。

定例の報告事項である公演活動・コミュニティ活動状況、ファンドレイジング状

況、貸しホール公演状況に加え、第一生命保険との活動支援連携について検討した。

各会議の定例報告以外の報告検討事項は以下の通り。

- ・ **第 115 回 2010 年 4 月 20 日**
2009 年度業務計画の振返り、予算収支結果、2010 年度業務計画、アドヴェントセミナー収束後の活動展開、個人会員増強策
- ・ **第 116 回 2010 年 5 月 18 日**
総会決議事項（2009 年度事業報告・収支決算結果、役員選任）、2010 年度予算、個人会員増強策、
- ・ **第 117 回 2010 年 6 月 21 日**
10 周年公演概要、オープンハウスサポーター支援
- ・ **第 118 回 2010 年 7 月 20 日**
第一生命ロビーコンサート、第一生命の主催公演への販売支援
- ・ **第 119 回 2010 年 9 月 14 日**
630 コンサート第一生命販売状況、第一生命の主催公演への販売支援
- ・ **第 120 回 2010 年 10 月 28 日**
10 周年企画書
- ・ **第 121 回 2010 年 11 月 29 日**
ホームページリニューアル、第一生命の TAN/第一生命ホール 10 周年への支援の考え方
- ・ **第 122 回 2010 年 12 月 21 日**
10 周年ロゴ、第一生命の TAN/第一生命ホール 10 周年への支援の考え方
- ・ **第 123 回 2011 年 1 月 25 日**
第一生命の TAN/第一生命ホール 10 周年への支援の考え方、チケット新システム移行、630 コンサート第一生命販売状況
- ・ **第 124 回 2011 年 2 月 23 日**
2010 年度予算進捗状況、2011 年度予算案、法人会員特典内容の一部改定、2011 年度会議日程、TAN 新ロゴ、ホームページリニューアル内容、TAN/第一生命ホール 10 周年リリース内容
- ・ **第 125 回 2011 年 3 月 22 日**
2010 年度の業務計画振返りと 2011 年度の課題、震災募金実施

(4) 専門部会

企画分科会を 2010 年 4 月 10 日（第 96 回）から 2011 年 3 月 24 日（第 106 回）まで 11 回開催し、コンサート・コミュニティ事業の企画・実行（Plan Do）および事業の振返り・改善（Check Action）を PDCA サイクルに沿って検討した。また TAN かわら版・ぶらあぼの編集内容、公演販売状況、ファンドレイジング状況、広報状況、サポーター活動状況等進捗および課題について検討し、スタッフ間の情報連携を図った。

2. 寄付・助成に関する事項

(1) 個人会員 762名 (2011年4月始現在)

Table listing 762 members of the organization, organized in 10 columns. Each entry includes a name and, where applicable, a family name in parentheses. The list is sorted alphabetically by family name.

(2) 法人会員

① エステルハージ・サークル会員

アサヒビール株式会社
SMB C 日興証券株式会社
株式会社 N T T データ
鹿島建設株式会社
JP モルガン証券株式会社
シティグループ証券株式会社
清水建設株式会社
住友商事株式会社
株式会社損害保険ジャパン
第一生命情報システム株式会社
第一生命保険株式会社
株式会社第一ビルディング
第一フロンティア生命保険株式会社
大和証券キャピタル・マーケット株式会社
株式会社竹中工務店
野村証券株式会社
株式会社日立製作所
みずほ証券株式会社
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
メリルリンチ日本証券株式会社
モルガン・スタンレーMUF G証券株式会社
(匿名希望 4社)

(2011年4月始現在 25社 五十音順)

② ラズモフスキー・サークル会員

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
株式会社大林組
株式会社関電工
興銀リース株式会社
資産管理サービス信託銀行株式会社
学校法人芝浦工業大学
相互住宅株式会社
DIAMアセットマネジメント株式会社
第一生命カードサービス株式会社
第一リース株式会社
大成建設株式会社
大日本印刷株式会社
東京電力株式会社

東洋埠頭株式会社
日本建設株式会社
日本物産株式会社
株式会社ビデオプロモーション
みずほインベスターズ証券株式会社
株式会社みずほコーポレート銀行
株式会社三菱東京UFJ銀行

(2011年4月始現在 20社 五十音順)

(3) 協賛・寄附

JP モルガン証券会社
アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
晴海トリトンスクエア
第一生命保険株式会社

(4) 助成

文化庁芸術拠点形成事業
公益財団法人日本財団
中央区文化・国際交流振興協会
財団法人日本室内楽振興財団
子どもゆめ基金
財団法人こども未来財団

(5) 認定

公益社団法人 企業メセナ協議会

3. 理事・職員・評価委員

(1) 特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク理事及び職員

理事長	長浜力雄
理事	藤田正厚
理事	三木隆二郎
理事	倉林京子
理事	播戸正臣
理事	山崎隆司
理事	中村卓史
監事	永山妙子

事務局長	植田寛
事務局次長	大平和代
ディレクター	田中玲子
アソシエイトディレクター	菊地麻維
アソシエイトディレクター	櫻井あゆみ
アソシエイトディレクター	黒澤洋子
広報担当	渡辺亮子
チケットデスク担当	宮崎友紀子

(2011年4月始現在)

(2) 2010年度評価委員

委員長	武濤京子	昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科	教授
委員	片山正夫	公益財団法人セゾン文化財団	常務理事
委員	喜多爽	公益社団法人企業メセナ協議会	プログラム・オフィサー
委員	河野聰	中央区文化・国際交流振興協会	事務局長
委員	善積俊夫	社団法人日本クラシック音楽事業協会	常務理事

(五十音順)

Ⅶ. 特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワークという。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を東京都中央区晴海1丁目8番10号に置く。

(目的)

第3条 この法人は、東京都中央区の晴海、月島、佃、勝どき地区を主とした地域の人々に対して、音楽を中心とした芸術活動ならびに地域活動を行うことにより、わが国の文化、芸術の発展に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の活動を行なう。

- (1) 社会教育の推進を図る活動
- (2) まちづくりの推進を図る活動
- (3) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (4) 子どもの健全育成を図る活動

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として次の事業を行う。

- (1) 自主企画公演事業
- (2) コンサート出前事業
- (3) アウトリーチプログラム事業
- (4) 若手演奏家支援事業
- (5) 前各号の事業を行うために必要な外国人の招へい
- (6) 文化ボランティア拠点づくり事業
- (7) 評価事業
- (8) その他目的を達成するための事業

第2章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下、「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体

(2) 特別会員 この法人の事業を賛助するために入会した団体

(入会)

第7条 正会員又は特別会員の入会について、特に条件は定めない。

2 正会員又は特別会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとする。

3 理事長は、前項の申込があったときは、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。

4 理事長は、第2項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(会費)

第8条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

2 会員が次の各号の一に該当するときは、退会したものとみなす。

(1) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。

(2) 継続して会費を2年以上滞納したとき。

(除名)

第10条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

(1) この定款等に違反したとき。

(2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(3) 前各号に準じる行為があったとき。

(拠出金品の不返還)

第11条 既納の会費及びその他の拠出金品は、返還しない。

第3章 役員

(種別)

第12条 この法人に次の役員を置く。

(1) 理事 3人以上10人以内

(2) 監事 2人以内

2 理事のうち、1人を理事長とする。

(選任等)

第13条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長は、理事会において理事が互選する。

3 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

4 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員ならびにその配偶者及び三親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることにはならない。

(職務)

第14条 理事長は、この法人を代表し、その業務を統括する。

2 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び総会又は理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。また、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、理事の中から理事長があらかじめ指定した者がその職務を代行する。

3 監事は、次に掲げる職務を行う。

(1) 理事の業務執行の状況を監査すること。

(2) この法人の財産の状況を監査すること。

(3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。

(4) 前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること。

(5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

(任期等)

第15条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠のため、又は増員によって就任した役員任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第16条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第17条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを解任することができる。ただし、総会において、その役員に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反、その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第18条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

- 2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

第4章 総会

(種別)

第19条 この法人の総会は、通常総会と臨時総会とする。

(構成)

第20条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

第21条 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散及び合併
- (3) 事業報告及び収支決算
- (4) 役員の選任又は解任、報酬及び職務に関する事項
- (5) 会費の額
- (6) 長期借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄
- (7) その他運営に関する重要事項

(開催)

第22条 通常総会は、毎年1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき。
- (2) 正会員総数の5分の1以上から、会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第14条第3項第4号の規定により、監事から招集があったとき。

(招集)

第23条 総会は、理事長が招集する。ただし、前条第2項第3号の規定による場合は、監事が招集する。

2 理事長は、前条第2項第2号の規定による請求があった場合は、その日から30日以内に臨時総会を開かなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもつ

て、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第24条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第25条 総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第26条 総会における議決事項は、第23条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款で定めるもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権)

第27条 各正会員の表決権は平等なものとする。

2 総会に出席しない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条の適用については、出席したものとみなす。

4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その決議に加わることができない。

(議事録)

第28条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 正会員の現在数

(3) 出席した正会員の数(書面若しくは電磁的方法による表決者、又は表決委任者については、その旨を明記すること)

(4) 審議事項及び議決事項

(5) 議事の経過の概要及び議決の結果

(6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及び出席した正会員のうちからその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

第5章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、理事をもって構成する。

2 監事は、理事会に出席し、意見を述べることができる。

(権能)

第30条 理事会は、この定款に定めるものの他、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他、総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(開催)

第31条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の3分の1以上から、会議の目的である事項を記載した書面によって招集の請求があったとき。

(招集)

第32条 理事会は理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条2号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第33条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(議決)

- 第34条 理事会における議決事項は、第32条第3項の規定によって、あらかじめ通知した事項とする。
- 2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権)

第35条 各理事の表決権は平等なものとする。

- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法をもって表決することができる。
- 3 前項の規定により表決した理事は、前条の適用については、出席したものとみなす。
- 4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事員は、その決議に加わることができない。

(議事録)

第36条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない

い。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事の現在数
- (3) 出席した理事の数（書面又は電磁的方法による表決者については、その旨を明記すること）
- (4) 審議事項及び議決事項
- (5) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人1人以上が署名、押印しなければならない。

第6章 資産、会計及び事業計画

（構成）

第37条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財産目録に記載された財産
- (2) 会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入
- (6) その他の収入

（資産の区分）

第38条 この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産とする。

（資産の管理）

第39条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

（経費の支弁）

第40条 この法人の経費は、資産をもって支弁する。

（会計の原則）

第41条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

（会計の区分）

第42条 この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業に関する会計とする。

(事業計画及び収支予算)

第43条 この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、毎事業年度ごとに理事長が作成し、理事会の承認を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。

(予備費の設定及び使用)

第44条 前条に規定する予算には、予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算に予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第45条 第43条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告書及び決算)

第46条 理事長は、毎事業年度終了後3ヶ月以内に、事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支決算書を作成し、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(長期借入金)

第47条 この法人が資金の借入をしようとするときは、その事業年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、総会の議決を経なければならない。

(事業年度)

第48条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第7章 事務局

(設置)

第49条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。

3 事務局の職員は、理事長が任免する。

(書類及び帳簿の備置)

第50条 事務所には、特定非営利活動促進法第28条に規定される書類のほか、次に掲げる書類を常に備えておかななければならない。

(1) 会員名簿及び会員の異動に関する書類

(2) 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類

第8章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第51条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の過半数の議決を経なければならない。ただし、可否同数のときは議長の決するところによる。また、変更内容については法第25条第3項に規定する軽微な事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。

(解散)

第52条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

(1) 総会の決議

(2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能

(3) 正会員の欠亡

(4) 合併

(5) 破産手続開始の決定

(6) 所轄庁による設立の認証の取消し

2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、総会において出席した正会員の3分の2以上の議決を経なければならない。

3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第53条 この法人が合併又は破産手続開始の決定以外の事由により解散したときに残存する財産は、総会において出席した正会員の過半数の議決を経て選定された、特定非営利活動法人、公益社団法人、公益財団法人、国又は地方公共団体に譲渡する。

第9章 雑則

(公告の方法)

第54条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

(委任)

第55条 この定款の施行について必要な事項は、総会の議決を経て、理事長がこれを定める。

附則

1. この定款は、この法人の成立の日から施行する。

2. この法人の設立当初の役員は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 理事長 加 茂 文 治
- (2) 理 事 藤 田 正 厚
成 田 元 男
- (3) 監 事 永 山 妙 子

3. この法人の設立当初の役員の任期は、第15条第1項の規定にかかわらず平成14年の最初の総会の日までとする。

4. この法人の設立当初の事業年度は、第48条の規定にかかわらず、成立の日から平成14年3月31日までとする。

5. この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第43条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによるものとする。

6. この法人の設立時の会費は、第8条の規定にかかわらず次に掲げる額とする。

- | | | |
|----------|--------|----------|
| (1) 正会員 | 年会費 1口 | 10,000円 |
| (2) 賛助会員 | 年会費 1口 | 5,000円 |
| (3) 特別会員 | 年会費 1口 | 100,000円 |

附則

この定款は、平成13年12月17日から施行する。

附則

この定款は、平成21年10月23日から施行する。

特定非営利活動法人 トリトン・アーツ・ネットワーク 2010 年度事業報告書
発行 2011 年 7 月

特定非営利活動法人 トリトン・アーツ・ネットワーク

〒104-6005

東京都中央区晴海 1-8-10 晴海アイランドトリトンスクエア X 棟 5 階

TEL 03-3532-5701 FAX 03-3532-5703

<http://www.triton-arts.net>